



年刊

# まちづくり読本

Shintotsukawa Town  
Settlement  
Guidebook  
2013

## 新十津川町の決算概要 財政指標

### 平成25年度の主な事業

- ごみ収集事業
- 高齢者や障がい者の見守り事業
- 町民健康づくり対策事業
- がん検診事業
- 地域防災力強化事業
- 行政区防犯灯LED化事業

# まちづくり読本

-2013年決算版-

発行／新十津川町  
 発行日／平成26年10月  
 編集／総務課企画調整グループ  
<http://www.town.shintotsukawa.lg.jp/>  
 e-mail [soumuka@town.shintotsukawa.lg.jp](mailto:soumuka@town.shintotsukawa.lg.jp)





## 町民のみなさまへ

日ごろから、町民の皆さまには町政の推進にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

町では、第5次総合計画に定めた目指すまちの将来像「豊かな自然 あふれる笑顔 みんなで創る いきいき未来」の実現のため、毎年多くの事業に取り組んでいますが、今年もこれらの事業の実施結果を分かりやすくまとめた『まちづくり読本決算版』を作成しました。

平成25年度の主な事業を紹介しますと、環境への取り組みでは、燃やせるごみを中空知および北空知管内14市町で共同処理するごみ焼却施設「中・北空知エネクリーン」が本格稼働しましたので、本町においても「ごみ分別とごみ減量化の手引き」を新たに作成、全戸に配布し、ごみの減量や再資源化など省資源への取り組みを促進しました。

基幹産業である農業の振興では、国営事業で進められてきた徳富ダムが完成し、関連事業により基幹水利施設や排水機場が整備されました。また、ほ場の整備を継続的に実施し、生産性の向上、農作業の効率化および維持管理の軽減を図りました。

安全で安心なまちづくりでは、行政区や関係団体との連携により自主防災組織の設立を支援し、災害時の避難支援体制の強化に努めたほか、モデル地区を選定し高齢者などの見守り支援の体制づくりを進めました。また、市街地の街路灯と町内全域の防犯灯をLED化して、省エネで安全な明るいまちづくりを推進しました。

健康づくりでは、自分の健康状態を把握し生活習慣の改善や健康維持につなげていただくため、若年者の健康診断の無料化やがん検診などの助成を充実したほか、ウォーキング作戦の実施による年齢や体力に応じた運動の奨励やスポーツ活動の支援など、町民の健康づくりの推進に努めました。

このほかにも本冊子には、まちづくりの目標に基づいて実施した多くの事業や町の財政状況なども掲載しておりますので、ぜひご一読いただきたいと存じます。

今後も、町民の皆さまに町の情報を提供し共有しながら、力を合わせてまちづくりを進めてまいりたいと考えておりますので、一層のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成26年10月

新十津川町長 植 田 満

## 目 次

序 章	新十津川町の決算概要	3
	財政指標	7
<b>1. みんなでつくる住みよいまち</b>	①環境の保全	9
	②生活基盤の充実	11
	③交通環境の充実	12
<b>2. みんなでつくる健やかなまち</b>	①児童福祉の充実	18
	②障がい者福祉の充実	19
	③高齢者福祉の充実	20
	④健康づくりの推進	22
	⑤医療環境の充実	23
<b>3. みんなでつくる豊かなまち</b>	①農業の振興	28
	②林業の振興	30
	③商工業の振興	31
	④観光の振興	32
<b>4. みんなでつくる安心なまち</b>	①消防・救急体制の充実	37
	②防災体制の充実	38
	③生活安全体制の充実	39
<b>5. みんなでつくる学びのまち</b>	①学校教育の充実	42
	②社会教育の充実	44
<b>6. みんなでともに歩むまち</b>	①住民参加の促進	49
	②行政の効率的な運営	51
<b>資 料 編</b>	公共施設等 電話番号・FAX番号	55

決 算 概 要  
財 政 指 標

# 新十津川町の決算概要

## (1) 総括

平成25年度の決算総額は、収入が63億8170万円、支出が61億6056万円となり、全ての会計で赤字はありませんでした。

各会計の決算額は、次のとおりです。

会 計		予 算 額	収 入	支 出	差 引
一 般 会 計		57億4449万円	57億3291万円	55億1422万円	2億1869万円
特 別 会 計	国民健康保険特別会計	3億3892万円	3億4082万円	3億3842万円	240万円
	後期高齢者医療特別会計	9749万円	9680万円	9675万円	5万円
	下水道事業特別会計	1億8533万円	1億8233万円	1億8233万円	0万円
	農業集落排水事業特別会計	2931万円	2884万円	2884万円	0万円
合 計		63億9554万円	63億8170万円	61億6056万円	2億2114万円

## (2) 一般会計の収支状況

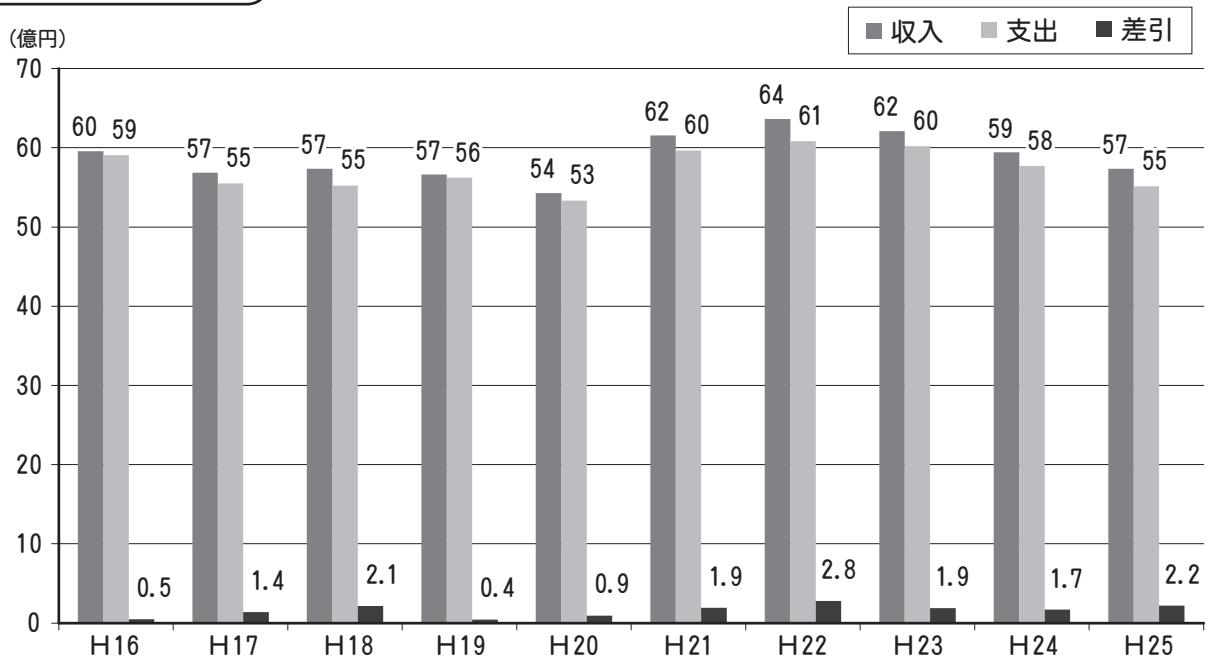
一般会計は、2億1869万円の黒字となりました。

過去10年間、毎年黒字となっており、この間の黒字額の合計は約16億円です。

このお金は、翌年度へ繰り越して使ったものもありますが、それ以外は全て町の貯金に積み立てています。

過去10年の収支の推移は、次のとおりです。

一般会計の収支の推移



【歳入】一般会計の収入の内訳は、次のとおりです。

項 目		H24	H25	比較 (H25 - H24)
依存財源	地方譲与税など	2億1329万円	2億1278万円	△51万円
	地方交付税	33億3996万円	33億 542万円	△3454万円
	国庫支出金	3億2077万円	3億4791万円	2714万円
	道支出金	3億6928万円	3億7848万円	920万円
	町債	7億1327万円	5億3708万円	△1億7619万円
自主財源	町税	5億9265万円	6億 148万円	883万円
	分担金及び負担金	5719万円	2940万円	△2779万円
	使用料及び手数料	1億3245万円	1億3990万円	745万円
	財産収入・諸収入など	1億9685万円	1億7587万円	△2098万円
	繰入金	669万円	459万円	△210万円
合 計	59億4240万円	57億3291万円	△2億 949万円	

依存財源とは、国や北海道から受けるお金や借金のことを、自主財源とは、まちが直接受けるお金のことをいいます。

自主財源の割合は16.7%となっており、大部分の収入を依存財源に頼っている状況です。ただし、依存財源の大部分を占める地方交付税は、全ての市町村が一定水準以上の行政サービスを行うために必要なお金として、国で集めた税金が地方に配分されるもので、地方公共団体固有の財源として自由に使えるお金ですので、「依存財源の割合が高いからまちの財政が厳しい」ということではありません。

【歳出】一般会計の歳出の内訳は、次のとおりです。

項 目	H24	H25	比較 (H25 - H24)
総務費	6億7963万円	8億4082万円	1億6119万円
民生費	6億2917万円	5億9552万円	△3365万円
衛生費	5億 871万円	4億6843万円	△4028万円
農林水産業費	3億2921万円	3億 480万円	△2441万円
商工費	1億7007万円	1億7001万円	△6万円
土木費	5億7002万円	6億1486万円	4484万円
消防費	2億1566万円	1億9861万円	△1705万円
教育費	5億7961万円	3億6464万円	△2億1497万円
公債費	11億6394万円	10億3215万円	△1億3179万円
職員費	8億5305万円	8億5933万円	628万円
議会・労働・災害復旧費	7408万円	6505万円	△903万円
予備費	0万円	0万円	0万円
合 計	57億7315万円	55億1422万円	△2億5893万円

総務費が大きく増加したのは、将来の公共施設の維持更新に必要なお金を準備するため、基金（まちの貯金）への積立額を増やしたためです。土木費が増加したのは、老朽化した除雪車両2台を更新したためです。教育費が大きく減少したのは、平成24年度に中学校武道場を建設していたためです。公債費（借金の返済）が大きく減少したのは、平成24年度の繰上償還が大きかったためです。

### (3) まちの借金

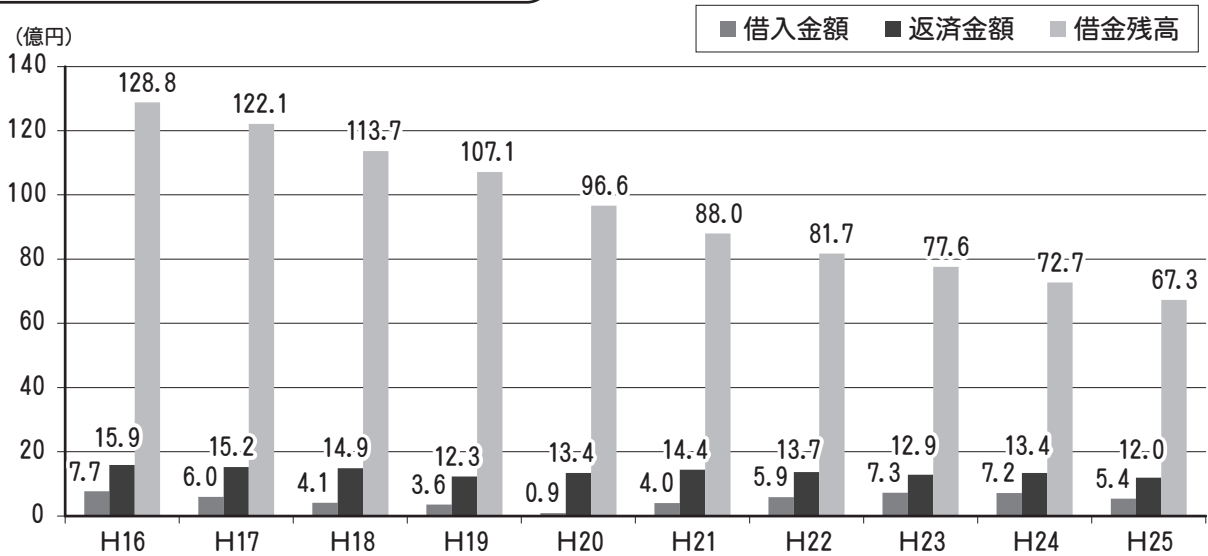
新十津川町の一般会計は黒字決算が続いていますが、収入には多くの借金が含まれています。しかし、「借金をしないとやっていけないくらいに財政状況が苦しい」ということではありません。市町村がお金を借りる場合、その返済金を国が普通交付税によって補てんしてくれるという仕組みがあり、この仕組みを利用し、まちの実質的な負担が少なく済むように努めています。

もちろん、借金は少ないに越したことはありませんので、繰上償還などにより、できるだけ借金残高が少なくなるように努めています。

毎年の借入金額と返済金額、借金残高の推移は、次のとおりです。

なお、返済金額には、利子の支払いと繰上償還が含まれます。

全会計の借入金額と返済金額、借金残高の推移

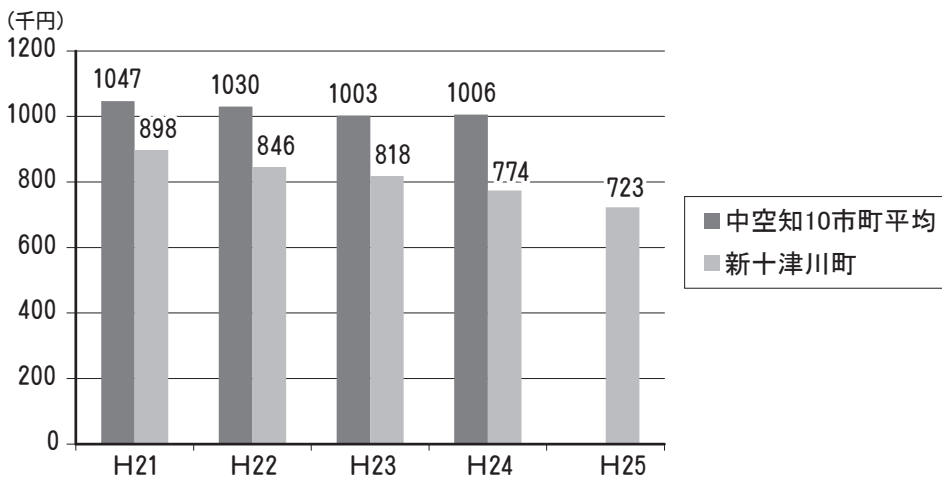


この10年間で、借金残高はほぼ半分に減りました。

借入金額は、その年度に実施する事業により変動がありますが、繰上償還分を除く通常分の返済金額は、残高の減少に合わせて少しずつ減ってきています。

住民一人当たりの借金残高は、次のとおりです。中空知10市町の平均と比較してみましょう。

住民1人当たりの借金残高



中空知10市町とは、芦別市、赤平市、滝川市、砂川市、歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、雨竜町、新十津川町です。平成25年度は、本書作成時点で他市町の状況が未公表のため、新十津川町のデータのみ掲載しています。

住民1人当たりの借金残高は、10市町平均\*より少ない額で推移しています。

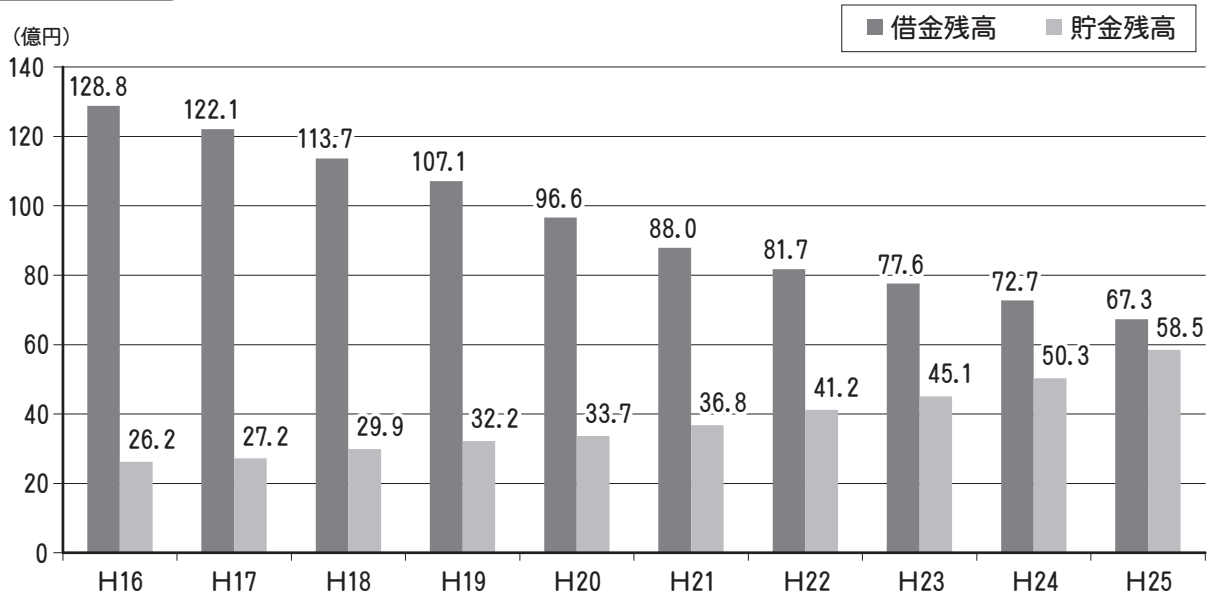
\*各市町の住民1人当たりの借金残高の平均であり、10市町の借金の合計額を10市町の人口の合計額で割ったものではありません。

## (4) まちの貯金

新十津川町の貯金残高は、平成25年度末（平成26年5月31日現在）で約58億5000万円になりました。毎年、着実に増やしており、借金のほとんどを貯金だけで返すことができる状態になっています。

借金残高と比較した貯金残高の推移は、次のとおりです。

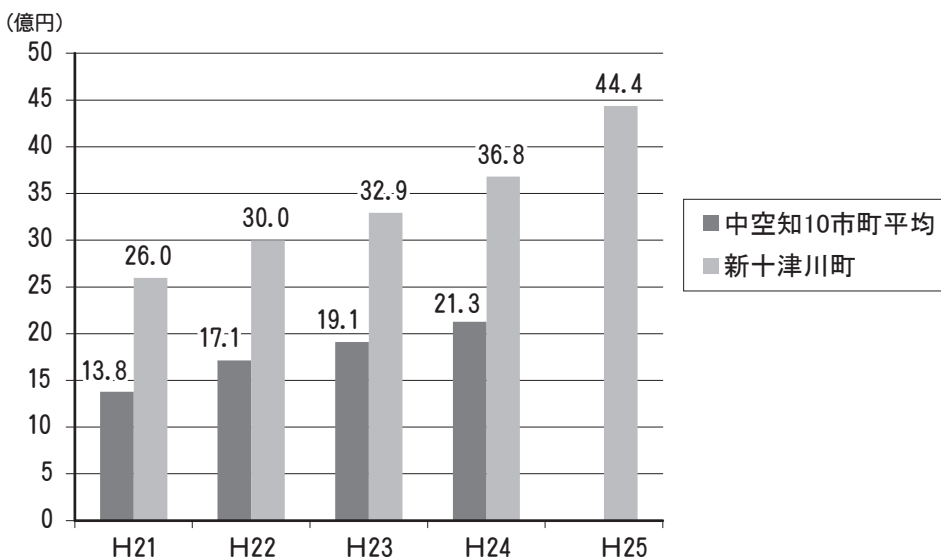
貯金残高の推移



貯金残高には、地方自治法で規定する基金のほかに、北海道市町村備荒資金組合への納付金（いつでも取り崩すことのできる実質的な貯金）を含みます。

北海道市町村備荒資金組合への納付金を除く、基金だけの残高の推移は、次のとおりです。中空知10市町の平均と比較してみましょう。

基金残高の推移



中空知10市町とは、芦別市、赤平市、滝川市、砂川市、歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、雨竜町、新十津川町です。平成25年度は、本書作成時点で他市町の状況が未公表のため、新十津川町のデータのみ掲載しています。

基金残高は、中空知10市町の平均を上回る額で推移しています。

※借金残高と基金残高の中空知10市町のデータは、北海道のホームページで公表されているものを使用しています。

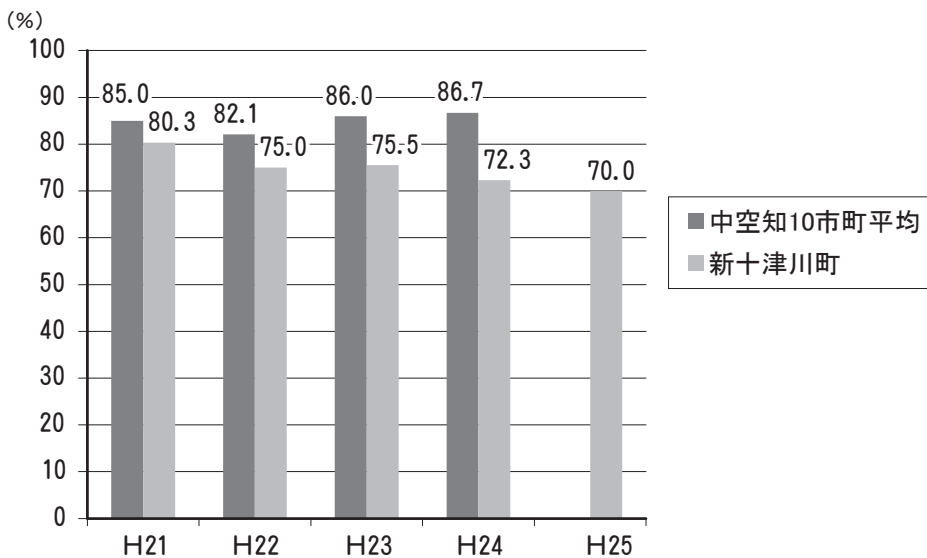
## 財政指標

市町村は、財政状況をチェックするための目安として、さまざまな指標を算定し公表することになっています。代表的な指標についてお知らせします。

### (1) 経常収支比率

普通交付税などのように、自由に使えるお金として毎年入ってくる収入に対し、人件費や借金の返済金のように、毎年決まって支払わなければならない支出がどれくらいあるのかを表す指標です。比率が高くなるほどに自由に使えるお金が少なく財政にゆとりがない状態と言えます。中空知10市町の平均と比較してみましょう。

経常収支比率



中空知10市町とは、芦別市、赤平市、滝川市、砂川市、歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、雨竜町、新十津川町です。平成25年度は、本書作成時点で他市町の状況が未公表のため、新十津川町のデータのみ掲載しています。

中空知10市町の平均より低い（良好な）値で推移しています。

### (2) 健全化判断比率

地方自治体は、財政の健全性を示す指標として、一般会計の赤字額の規模を表す「実質赤字比率」、特別会計を含めた全会計の赤字額の規模を表す「連結実質赤字比率」、その年の借金の返済額が大きすぎないかをチェックするための「実質公債費比率」、将来に残す借金が大きすぎないかをチェックするための「将来負担比率」の4指標からなる健全化判断比率を算定し、公表しなければなりません。

全ての比率は、低いほど財政状況が良いと判断されます。いずれかの比率が一定の基準を超えると、借金の借り入れなど、国から財政運営上の制約がかけられます。

平成25年度の本町の判断比率は次のとおりで、全て健全な水準となっています。

健全化判断比率	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
新十津川町	—	—	4.8%	—
早期健全化基準 (黄信号)	15%	20%	25%	350%
財政再生基準 (赤信号)	20%	35%	35%	

1

**みんなで作る  
住みよいまち**

## ① 環境の保全

### 自然環境を保全する活動 18万円

(担当：住民課住民活動グループ)

地球温暖化防止に向け、家庭の省エネと家計節約に役立つ「うちエコ診断事業」に26人の受講があり、省エネやCO<sub>2</sub>削減を提案しました。

また、公共施設に発生したスズメバチの巣6件の処理を行いました。

#### 【うちエコ診断事業】

家庭のエネルギー使用量や光熱費などの情報をもとに、ライフスタイルに合わせて無理なくできる省エネ、CO<sub>2</sub>削減策を提案する事業です。



### 生ごみ処理機の助成 35万円

(担当：住民課住民活動グループ)

家庭から排出される生ごみを堆肥として有効に活用し、生ごみの減量化を図るため、処理機器を購入した方に費用の一部を助成しました。

平成25年度助成実績は、コンポスト容器32台、電気式生ごみ処理機7台です。



### ごみ収集

4501万円

(担当：住民課住民活動グループ)

家庭から出されたごみの収集運搬や、指定ごみ袋の作成、また平成26年度から分別方法が変わることから「ごみ分別とごみ減量化の手引き」を作成しました。

新十津川町環境基本計画では、町民1人が1日に出すごみの量を平成31年度までに695グラムにまで減らそうという目標を立てています。

平成25年度は771グラムでしたので、目標達成には分別の強化を図り、ごみ減量に向けて取り組んでいくことが大切です。

行政としても、ごみの減量に向けて家庭でできる取り組みなどを周知していきますので、今後も皆さんのご協力をお願いします。

#### 【リサイクルに搬入された家庭系ごみ】

- ・燃やせるごみ 664トン (661トン)
- ・燃やせないごみ 103トン (104トン)
- ・生ごみ 350トン (358トン)
- ・資源ごみ 144トン (143トン)
- ・粗大ごみ 81トン (70トン)

※かっこ内の数字は平成24年度の搬入量

#### <財源内訳>

ごみ袋販売代金	2326万円
資源物売り払い収入	116万円
町の負担	2059万円



### 公衆トイレの解体

64万円

(担当：住民課住民活動グループ)

利用が少なくなった大和市街と花月市街の公衆トイレを解体しました。



### 不法投棄ごみへの対策

20万円

(担当：住民課住民活動グループ)

不法投棄されたごみの処分を行いました。  
また、不法投棄防止のためのセンサー式ライトを3カ所に設置しました。



### 埋め立て処理施設の管理

1342万円

(担当：住民課住民活動グループ)

総進区にあるごみ埋め立て処理施設の管理運営を行いました。現在は、「リサイクリーン」で細かく砕かれた燃やせないごみと中空知衛生施設組合で処理された汚泥などを埋め立てています。

平成25年度は水処理の主力設備の修繕を行いました。

<財源内訳>

ごみ処理業許可手数料 2万円  
町の負担 1340万円



### ごみ焼却施設運営

1638万円

(担当：住民課住民活動グループ)

平成25年度から稼働した、中空知、北空知管内14市町の共同運営による燃えるごみの焼却施設である「中・北空知エネクリーン（所在地：歌志内市）」の運営費を負担しました。

燃やせるごみは、いったん「リサイクリーン」に集められて圧縮された後、「中・北空知エネクリーン」に運ばれて焼却処理されています。



## 危険空き家対策

3万円

(担当：住民課住民活動グループ)

危険空き家対策を進めるため制定した「新十津川町空き家等の適正管理に関する条例」に基づき、「新十津川町空き家等対策審議会」を開催し、危険空き家の対策を検討しました。

### 【審議員構成】

- ・ 弁護士
- ・ 消防士
- ・ 行政区長
- ・ 建築士
- ・ 警察官
- ・ 学識経験者



## ② 生活基盤の充実

### 安心すまいる助成制度

60万円

(担当：建設課都市管理グループ)

町内の個人が所有する住宅の省エネ改修工事に対して、工事費用の一部を助成しました。耐震化を促進するための耐震診断と、耐震改修工事の助成申請はありませんでした。

### <財源内訳>

- 国の補助金 30万円
- 町の負担 30万円

### 【助成対象と助成件数】

助成項目	助成対象	助成率 (助成金限度額)	助成件数	
			H24	H25
省エネ改修工事	既存住宅で、50万円以上の工事	工事費用の5分の1 (限度額30万円)	6件	2件
耐震診断	既存の全ての住宅	診断費用の3分の2 (限度額4万円)	0件	0件
耐震改修工事	耐震診断の結果、耐震基準を満たしていないと判断された、昭和56年5月31日以前に着工した住宅	工事費用の5分の1 (限度額75万円)	0件	0件

## 都市公園の管理

2276万円

(担当：建設課土木グループ)

公園を憩いと交流の場として、安全で安心してご利用いただくために遊具の点検補修や園内の草刈りなどの環境整備を行いました。

また、中央公園とふるさと公園にある老朽化した遊具の更新を行いました。

さらに、次年度以降の公園施設の計画的な補修や遊具などの更新を行うため、公園施設長寿命化計画を策定しました。

### 【更新した遊具】

- ・中央公園 ベンチ3基、ローリー1基
- ・ふるさと公園 ロックウォール1基、ローリー1基

### <財源内訳>

国の補助金	455万円
パークゴルフ場管理協力金	47万円
町の負担	1774万円

## 汚水の処理

2億818万円

(担当：建設課都市管理グループ)

6市4町で共同利用している公共下水道の終末処理施設の整備や管理に必要な費用の負担と、過去の整備の借金を返済しました。

また、本町の今後10年間の下水道事業を円滑に進めるため、中期ビジョンを策定しました。

農業集落排水については、大和地区および花月地区の排水処理場の維持管理を行いました。

### <財源内訳>

国の補助金	116万円
受益者負担金	15万円
使用料	6700万円
町の負担	1億3987万円

## ③ 交通環境の充実

### 地域公共交通の確保

2040万円

(担当：総務課企画調整グループ)

皆さんの生活の足を確保するために、町内各方面を運行している交通事業者に対して、運行費用の一部を助成しました。

平成25年4月から運行を開始した徳富・総進方面を運行する乗合タクシーと、花月・砂川方面を運行する乗合ワゴンに対して、運行補助を行い、延べ3345人の利用がありました。

新十津川町地域公共交通活性化協議会では、運行状況を把握しながら地域の皆さんにとってより良い公共交通となるよう協議しました。

### 【補助対象路線】

- ・中央バス 花月砂川線、滝川北竜線、滝川浦臼線、ふるさと公園線、西徳富線
- ・乗合タクシー 徳富・総進方面
- ・乗合ワゴン 花月・砂川方面

### 【地域公共交通活性化協議会負担金】

パンフレット・チラシ作成、アンケート実施経費



## 町道の除排雪

1億2223万円

(担当：建設課土木グループ)

冬期間の快適な生活環境と安全な交通の確保を図るため、町所有の機械15台と業者から借上げた機械8台を使って町道の除排雪を行いました。

### <財源内訳>

国の補助金 201万円  
町の負担 1億2022万円



年 度	H21	H22	H23	H24	H25
降 雪 量	875cm	553cm	812cm	850cm	786cm
最大積雪量	159cm	110cm	150cm	125cm	140cm
一斉除雪回数	44回	27回	42回	53回	43回
一斉排雪回数	2回	1回	2回	2回	2回
決 算 額	1億2872万円	7886万円	1億3718万円	1億2850万円	1億2223万円

## 除雪車の購入

6889万円

(担当：建設課土木グループ)

除排雪作業を行っている町所有の機械のうち、古くなった2台の機械を更新しました。

### 【更新した機械】

- ・除雪トラック 10トン専用車(6輪駆動) 1台
- ・除雪ロータリ 390PS級 除雪幅 2.6m  
除雪能力2900トン/時間 1台

### <財源内訳>

国の補助金 4575万円  
町の負担 2314万円



## 道路橋の点検調査

647万円

(担当：建設課土木グループ)

町道に架けられた橋の維持管理は、老朽化する橋が増加することから、効率的かつ合理的に行う必要があります。

そのための点検調査を行い、管理する橋りょう133橋の維持管理計画を策定しました。

今後、維持管理計画に基づいた修繕・改修を行い、橋の長寿命化を図ります。

### <財源内訳>

国の補助金 421万円  
町の負担 226万円



## 町道の整備

1億3481万円

(担当：建設課土木グループ)

平成25年度は、次の道路の整備を行いました。

### ①西2線道路改築舗装工事（平成20～26年度）

- 全体計画：南4号線から南13号線まで
- 平成25年度の実績
  - 工事費：8083万円
  - 工事区間
    - ・南8号線から南9号線までの舗装仕上げ工事
    - ・南9号線から南10号線までの改築舗装工事
  - 工事内容
    - ・舗装仕上げ工事 延長333m  
(道路幅員8.0m)
    - ・改築舗装工事 延長702m  
(道路幅員8.0m、歩道幅員1.5m)

### ②西1線舗装補修工事（平成24～26年度）

- 全体計画：南5号線から南11号線まで
- 平成25年度の実績
  - 工事費：711万円
  - 工事区間
    - ・南9号線から南11号線まで
  - 工事内容
    - ・舗装の打替え工事（打替え幅1.8m）  
延長511m

### ③北8号線舗装補修工事（平成25～27年度）

- 全体計画：国道275号から北8線まで
- 平成25年度の実績
  - 工事費：838万円
  - 工事区間
    - ・国道275号から北6線まで
  - 工事内容
    - ・舗装1層の上乗せ工事 延長547.7m  
(道路幅員6.5m)

### ④南13号線舗装改修工事（平成25年度）

- 工事費：305万円
- 工事区間
  - ・花月13号の沢線から100m区間の舗装路盤打ち替え工事
  - ・花月13号の沢線の横断管改修工事
- 工事内容
  - ・舗装路盤打ち替え工事 延長100m
  - ・横断管改修工事 延長6.0m

### ⑤南中央団地内舗装補修工事（平成25～27年度）

- 全体計画：南中央1号通り、南中央2号通り、南中央1条通り、南中央2条通り、南中央4条通り
- 平成25年度の実績
  - 工事費：308万円
  - 工事区間：南中央1号通り
  - 工事内容
    - ・舗装1層の上乗せ工事 延長213m

### ⑥みどり団地内舗装補修工事（平成24～26年度）

- 全体計画：団地内道路
- 平成25年度の実績
  - 工事費：2772万円
  - 工事区間：みどり1条通り（32m）  
みどり3条通り（350m）  
みどり4条通り（336m）  
みどり5条通り（320m）  
みどり1号通り（236m）  
みどり2号通り（200m）  
みどり3号通り（267m）  
北1号線（110m）
  - 工事内容
    - ・舗装1層の上乗せ工事 延長1851m

### <財源内訳>

国の補助金 6404万円  
町の負担 7077万円

平成25年度 工事箇所図



事業名	決算額	実施概要
環境の保全		
狂犬病の予防	22万円	新規登録14頭、予防注射264頭、犬捕獲器を購入しました
墓地の管理	97万円	町内9カ所の墓地と弥生霊園の維持管理を行いました
合併浄化槽設置の支援	116万円	生活排水対策で浄化槽設置者3人に補助金を交付しました
資源リサイクルの奨励	43万円	資源ごみを回収する9団体に奨励金を支出しました
し尿収集	619万円	し尿くみ取りや運搬を行いました
し尿処理施設の負担金	2402万円	し尿処理施設中空知衛生センターの運営費を負担しました
ごみ処理施設の負担金	5487万円	ごみ処理施設「リサイクリーン」の運営費を負担しました
火葬場施設の負担金	271万円	火葬場施設「滝の川斎苑」の運営費を負担しました
石狩川流域下水道組合負担金	623万円	し尿処理施設の建設準備費用を負担しました
汚泥等処理(MICS)効果促進事業負担金	607万円	し尿処理施設の建設準備費用を負担しました
生活基盤の充実		
町有住宅の維持管理	840万円	町有住宅17戸の維持管理を行いました
水道企業団の負担金	2605万円	西空知広域水道企業団の水道整備事業に負担しました
建築事務	23万円	法令や技術の講習会に出席し、知識の向上に努めました
公営住宅の維持管理	2417万円	公営住宅385戸の維持管理を行いました
交通環境の充実		
バス待合所管理事業	111万円	使用しなくなったバス待合所5カ所を撤去しました
土木管理事務	23万円	土木工事に関する書籍などを購入しました
町道の維持管理	3317万円	夏期の町道の維持や不良箇所の補修を行いました
街路樹の維持管理	208万円	街路樹のせん定や害虫防除を行いました
道路台帳の管理	92万円	整備・改良が完了した町道の道路台帳を更新しました
道路維持車両の管理	1880万円	町道の草刈作業や除排雪作業のための車両を管理しました
除雪センターの管理	28万円	夏期町道維持や除排雪作業の拠点施設を管理しました
道路側溝の整備	3003万円	流れが悪くなった道路側溝の整備を行いました
道路名標識板の設置	343万円	町道名が判るように表示板を16基設置しました

**みんなで作る  
健やかなまち**

## ① 児童福祉の充実

### できっずカードの発行 758万円

(担当：保健福祉課子ども・高齢者グループ)

妊婦や中学生以下の子どもがいる世帯を経済的に支援するため、子育て世帯専用のポイントカード「できっずカード」を1世帯につき5枚交付しています。このカードは満点になると5000円分の金券として買い物や預金に利用することができ、4500円分を町が負担しています。

平成25年度は、対象514世帯のうち438世帯（交付率85.2%）に計2190枚のできっずカードを交付しました。

満点カードの使用枚数は1575枚（71.9%）で、そのうちの779枚（49.5%）が町内での買い物に使用されました。



### 子ども・子育て支援事業計画の調査 133万円

(担当：保健福祉課子ども・高齢者グループ)

子ども・子育て支援法に基づく「子ども・子育て支援事業計画」を策定するため、子育て世帯にニーズ調査を実施し、調査の集計および分析を行いました。

【対象世帯】 391世帯

【回答世帯】 201世帯

【有効回答率】 51.41%

<財源内訳>

道の補助金 133万円



### 子育て支援センターの運営 274万円

(担当：保健福祉課子ども・高齢者グループ)

子育て支援センターでは、保育士資格を持つ2人の子育て指導員が、子育て中の保護者の皆さんのサポートや育児サークル活動相談事業などを行っています。

【平成25年度利用者数】

一般利用	3894人
育児サークル活動	776人
年齢別活動	1012人
子育てスクール	783人
合計	6465人

<財源内訳>

道の補助金 136万円  
町の負担 138万円



### 児童館の運営 832万円

(担当：保健福祉課子ども・高齢者グループ)

児童館では、5人の児童厚生員が放課後や休日などに、子どもたちが安心して遊べるよう、さまざまな行事を行っており、延べ1万7751人の児童が遊びにきました。

また、児童の遊びを通じての指導や保護者からの子育て相談に対応するため、子育て支援アドバイザー1人を配置しました。

<財源内訳>

道の補助金 95万円  
行事の参加負担金 1万円  
町の負担 736万円



## ② 障がい者福祉の充実

### 地域生活支援事業

498万円

(担当：保健福祉課介護・福祉グループ)

在宅の障がい者および障がい児が、住み慣れた地域で安心して生活するために、外出時の移動の支援や通所施設での日中の見守り支援、紙おむつなどの日常生活に必要な用具の給付を行いました。

#### <財源内訳>

国の補助金	206万円
道の補助金	119万円
町の負担	173万円

### 地域活動支援センター負担金 698万円

(担当：保健福祉課介護・福祉グループ)

地域活動支援センターの指定を受けている、ゆめりあ内の「あざれあ工房」と砂川市にある「ぼぼろ」に対し、運営費の一部を助成しました。

地域活動支援センターは、心身に障がいのある方が通所する福祉施設で、「あざれあ工房」では、手芸品の作成や菓子箱の組み立てなどを行いました。

また、砂川市の「ぼぼろ」では、話し合いの場や料理・軽スポーツなどの活動の場を提供しました。

### 障害者自立支援事業

2億389万円

(担当：保健福祉課介護・福祉グループ)

国の法律に基づく福祉サービスを行いました。障がいのある方が、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、障がいの内容や特性に合わせ、個々のニーズに応じた適正なサービスを提供しました。

#### 【主なサービスの内容】

- 在宅で訪問を受け利用するサービス  
入浴、排せつ、食事の介護および調理、洗濯などの家事援助を行いました。
- 施設などで昼間の活動を支援するサービス  
施設での入浴、排せつ、食事の介護および個々の能力に応じた就労支援を行いました。
- 住まいの場を提供するサービス  
さまざまな障がいのある方が共同生活を送ることができるよう、日常生活に必要な支援を行いました。
- 障がい者福祉サービス利用計画の作成  
障がいのある方の心身の状況に応じたサービス利用計画を作成し、個々に合ったサービス利用の支援を行いました。

#### <財源内訳>

国の負担金	9918万円
道の負担金	4975万円
町の負担	5496万円



### ③ 高齢者福祉の充実

#### 要援護者の台帳整備と情報管理 32万円

(担当：保健福祉課介護・福祉グループ)

災害時に支援が必要な高齢者や障がいのある方の疾病状況や必要な介護の内容、緊急時連絡先や近隣の支援者などの情報を管理し、必要時に情報が活用できるように体制を整えました。

また、台帳登録者に対して、緊急時や災害時に活用できる救急医療情報キットを配布しました。



※緊急時に必要な情報をこの容器に入れ、自宅の冷蔵庫に保管し、万が一の緊急時に備えます。

#### 緊急通報システムの設置 13万円

(担当：保健福祉課介護・福祉グループ)

ボタンを押すと消防署につながる、緊急通報システムの設置に係る費用を負担しました。高齢者や障がいのある方の不安の軽減を図るとともに、緊急時の迅速な対応を行いました。

平成25年度には85世帯の利用があり、消防署への通報は4件、その全てに救急隊が出動しました。

<財源内訳>

雨竜町の負担金 4万円

(緊急通報システムの回線を雨竜町と共有しているため)

町の負担 9万円

#### 高齢者や障がい者の見守り 274万円

(担当：保健福祉課介護・福祉グループ)

高齢化率の高いみどり区、花月区をモデル地区に設定し、一人暮らし高齢者や障がいのある方のうち希望があった方に、見守り支援員を選任しました。

週1回程度の定期的な訪問活動を通し、安心した地域生活を送ることができるように体制を整えました。

#### 灯油購入費の助成 138万円

(担当：保健福祉課介護・福祉グループ)

冬期間の暖房に欠かすことのできない灯油の価格が高騰したため、一定の要件を満たした高齢者世帯や障がいのある方の世帯、ひとり親世帯など131世帯に対し、1世帯当たり100リットル分の福祉灯油券を発行しました。

<財源内訳>

国の補助金 50万円

町の負担 88万円

## ふるさと学園大学の運営 46万円

(担当：保健福祉課子ども・高齢者グループ)

高齢者を対象に、学習意欲の向上、健康や体力の維持・増進などを目的とした講義を年間8回開催しました。

207人の学生が入学し、充実した生きがいのある生活を目指すため、身近な話題をテーマとした講義を受講しました。

207人のうち37人の学生が皆勤者となりました。



## 60代からの生きがいづくり 9万円

(担当：保健福祉課子ども・高齢者グループ)

60歳以上の方の新たな生きがいづくりを目的としてシニアいきいきクラブを開催しました。

平成25年度は、せん定・冬囲い、太極拳、お菓子作り、家庭菜園の4つの教室で、参加申込54人、延べ123人が参加しました。

太極拳教室では、参加者の多くがそのまま太極拳同好会に入会し、活動を継続しています。

<財源内訳>

参加者負担金	1万円
町の負担	8万円



## 高齢者宅等の除雪 266万円

(担当：保健福祉課子ども・高齢者グループ)

高齢者や障がい者世帯の冬期間の除雪の不安を解消し、在宅生活を確保するため、11月から3月までの期間、除雪サービスを実施しました。

除雪の範囲は、玄関から道路までの人が通れる程度とベランダおよび窓（家の中で1カ所）で、40人がこの事業を利用しました。

<財源内訳>

国の交付金	91万円
利用者の負担金	33万円
町の負担	142万円



## レクリエーション・インストラクターの養成 14万円

(担当：保健福祉課子ども・高齢者グループ)

札幌で行われたレクリエーション・インストラクター養成講習会に2人が参加し、それに係る交通費や受講料などを負担しました。

また、インストラクターの活躍の場として、単位老人クラブの定例会で15回、ふるさと学園大学で1回、老人クラブ交流会で1回、計17回レクリエーションを実践しました。



## ④ 健康づくりの推進

### 町民健康づくり対策 230万円

(担当：保健福祉課健康推進グループ)

町の健康増進計画である「健康プラン新十津川(第2期平成25年度～34年度)」がスタートしました。

初年度の健康づくり対策事業として、次の事業を行いました。

- 健康のぼりを作成掲示し、健康づくりに常に關心を持ち、健康増進に取り組めるように情報提供を行いました。
- 「食生活知っ得情報(料理レシピ)」のチラシを町内全戸に配布し、食生活の改善のため、栄養や食生活改善に必要な情報を提供しました。
- ウォーキング作戦を実施し、体を動かす習慣を身に付けるため手軽にできるウォーキングを推進しました。

<財源内訳>

保険者の補助金	29万円
町の負担	201万円



### がん検診 642万円

(担当：保健福祉課健康推進グループ)

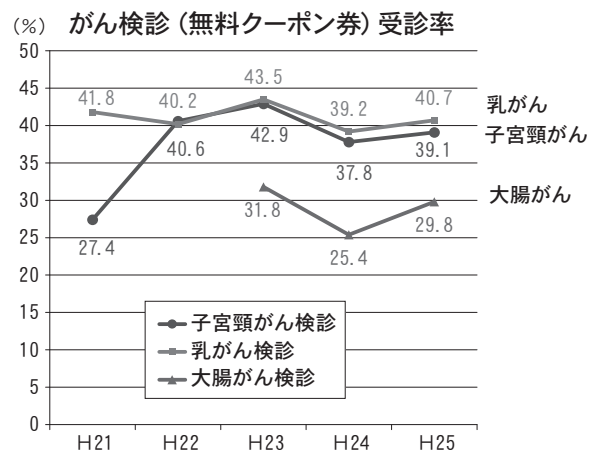
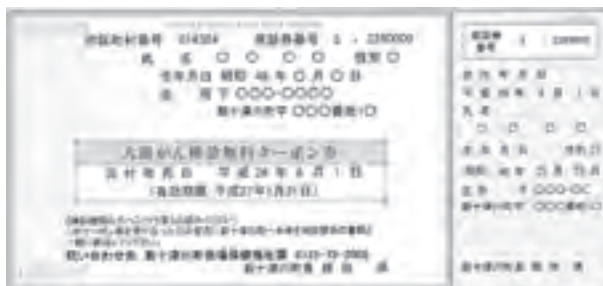
がんの早期発見・早期治療のために、胃がん、肺がん、大腸がん、前立腺がん、子宮頸がん、乳がん検診を行いました。

節目年齢の女性の方に子宮頸がん・乳がん検診無料クーポン券の配布や平成23年度から追加された節目年齢の方への大腸がん検診無料クーポン券の配布を行いました。

また、町独自の取り組みとして、30歳代の女性を対象に乳がん検診を行いました。

<財源内訳>

国の補助金	70万円
保険者の補助金	20万円
受診者自己負担	185万円
町の負担	367万円



## ⑤ 医療環境の充実

### 国民健康保険

3億3843万円

(担当：住民課戸籍保険グループ)

保険運営を行う広域連合への負担金、保険税の収納に係る経費や保険税審議会の開催経費など、保険事業を安定的に運営するための経費を支出しました。

平成25年度から、40歳～74歳の加入者を対象とした特定健診の個人負担を無料化し、病気の早期発見・早期治療による医療費削減に努めています。

#### <財源内訳>

国の補助金	1720万円
道の補助金	2270万円
加入者の保険税	2億4575万円
町の負担	5278万円

#### 【被保険者数および1人当たり医療費の推移】

	H23	H24	H25
平均被保険者数	2198人	2127人	2010人
前年度対比	—	△3.2%	△5.5%
1人当たり医療費	40万6105円	41万1130円	40万9698円
前年度対比	—	1.24%	△0.35%

### 後期高齢者医療保険

9676万円

(担当：住民課戸籍保険グループ)

後期高齢者医療制度を運用する上で必要となる、保険証の作成や保険料の決定などの運営を行う広域連合への負担金や、町が行う保険証の交付、各種療養費の受付、保険料を収納して広域連合へ納付するための経費を支出しました。

#### <財源内訳>

加入者の保険料	6843万円
道広域連合の交付金	2万円
加入者からの手数料など	15万円
過年度保険料の還付金	1万円
町の負担	2815万円

#### 【1人当たり医療費の推移】

区分	H22		H23		H24		H25	
	金額	順位	金額	順位	金額	順位	金額	順位
新十津川町	97万1923円	85位	91万4098円	125位	91万2669円	131位	90万9181円	136位
北海道	107万442円		108万7294円		108万1083円		109万1704円	

※平成25年度は数値が確定していないため、暫定的な数値となっています。

※表中の「順位」は、北海道の177（東川町、東神楽町、美瑛町は3町で共同運営）市町村の順位です。

1人当たり医療費が高いほど、順位が高くなります。

## 中学生までの医療費無料化

2144万円

(担当：住民課戸籍保険グループ)

子育て世帯の経済的負担を軽減し、子どもの健康管理を支援するため、0歳から中学生までのお子さんが病院で診察を受けたときの保険医療費の全額を助成しました。

### 【平成25年度の助成実績】

	全体		未就学児		小学生		中学生	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
入院	85件	366万4324円	46件	184万9222円	29件	93万4301円	10件	88万 801円
通院	5406件	1021万3053円	2644件	440万2406円	2013件	405万4271円	749件	175万6376円
歯科	1002件	228万4326円	286件	55万6367円	593件	137万6193円	123件	35万1766円
調剤	3656件	448万3054円	1945件	190万6260円	1337件	207万8988円	374件	49万7806円
合計	1万 149件	2064万4757円	4921件	871万4255円	3972件	844万3753円	1256件	348万6749円

■は町独自助成

**新十津川町健康増進計画**  
**健康プラン新十津川**  
第2期(平成25年度から平成27年度)

平成25年度 → 平成26年度 → 平成27年度

**健康づくり実践目標**

- 病気の予防
- 栄養・食生活
- 歯・口腔の健康
- 身体活動・運動
- たばこ
- 環境
- 休養
- こころの健康

「健康づくり宣言」

★健康増進計画、健康づくりに関する相談等は、保健師、管理栄養士へ★  
**新十津川町 保健福祉課 健康推進グループ(ゆめりあ内)**  
TEL.0125-72-2000 FAX.0125-72-2006

**健康料理レシピ**  
YOMACE

地産地消の食材・トマト

**リコピンパワーで夏を乗り切ろう!**

リコピンは、トマトや赤い果物などに含まれる赤色の色素のひとつです。血管を丈夫に保ち、免疫力を高める効果が期待されています。リコピンは季節の変わり目、夏の疲れ、夏バテ、夏熱などに効果的です。また、抗酸化作用があり、肌の老化を防ぎ、シミやそばかすの予防にも効果的です。リコピンは、トマトや赤い果物などに含まれる赤色の色素のひとつです。血管を丈夫に保ち、免疫力を高める効果が期待されています。

**真っ赤なトマトのキッシュ風**

<材料 / 20cmフライパン1台 / 4人分>

- ①卵 2個
- ②バター 10g
- ③小麦粉 50g
- ④牛乳 100g
- ⑤塩 少々
- ⑥トマト 1個
- ⑦オリーブオイル 少々
- ⑧チーズ 50g
- ⑨パルメザンチーズ 少々

<作り方>

- ①卵を室温に戻し、よく混ぜる。
- ②バターをフライパンで溶かし、小麦粉を加えて炒める。
- ③牛乳を加えて混ぜ、塩を加える。
- ④トマトを薄切りにし、フライパンに入れて炒める。
- ⑤チーズを加えて混ぜ、パルメザンチーズを加える。
- ⑥フライパンを熱し、焦げ目がつくまで焼く。
- ⑦お好みでトマトソースをかける。

【1人当たりの栄養成分】エネルギー 244kcal、たんぱく質 12.0g、脂質 12.0g、炭水化物 12.0g、塩分 1.0g

事業名	決算額	実施概要
児童福祉の充実		
誕生記念品の贈呈	16万円	誕生した35人のお子さんにベビー服を贈りました
児童手当の支給	8906万円	中学生以下の子どもを養育している方に手当を支給しました
安心の子育て環境づくり	23万円	子育て支援講演会と17回の子育てスクールを開催しました
新十津川保育園の運営	5939万円	指定管理者（華園学園）に委託して保育園を運営しました
保育所広域入所負担金	44万円	町外の保育園へ通った乳幼児の負担金です
子ども夢基金の利子積立	31万円	子ども夢基金の利子を積み立てました
障がい者福祉の充実		
補装具費の支給	89万円	身体に障がいのある方に補装具を給付しました
自立支援医療費の給付	1920万円	人工透析などに係る医療費を助成しました
重度心身障害者等介護手当の支給	54万円	重度障がい者の介護者に手当を支給しました
施設通所交通費の助成	74万円	施設通所の交通費を助成しました
特別児童扶養手当支給事務	4万円	障がい児の保護者に手当を支給しました
身障福祉協会の支援	4万円	身障福祉協会の活動に補助金を支出しました
高齢者福祉の充実		
高齢者の福祉施設入所経費	580万円	行政の措置による施設入所者に係る経費を負担しました
介護保険の運営	1億652万円	介護保険の運営経費を空知中部広域連合に負担しました
高齢者の介護予防	481万円	要介護状態への移行を予防するデイサービスを行いました
在宅要援護者の通院支援	5万円	バス利用が困難な高齢者にタクシー代の一部を助成しました
ゆめりあ部会の運営	4万円	部会活動の成果を披露する発表会や体験教室を行いました
福祉バスの運営	129万円	高齢者無料バスの運行や車両の管理を行いました
長寿を祝う会負担金	115万円	「長寿を祝う会」の開催を支援しました
単位老人クラブの支援	95万円	町内の各老人クラブに活動資金の一部を助成しました
老人クラブ連合会の支援	54万円	町の老人クラブ連合会に活動資金の一部を助成しました
高齢者の元気づくり支援	176万円	心身機能の維持向上のための運動教室や講話を行いました

事業名	決算額	実施概要
健康づくりの推進		
総合健康福祉センターの管理	3849万円	ゆめりあの管理運営を行いました
乳幼児学童法定予防接種	297万円	子どもに必要な法定予防接種を延べ359人に行いました
インフルエンザ予防接種	178万円	対象者に1人1回につき1000円、延べ1730人に助成しました
ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチン予防接種	310万円	ヒブ・小児用肺炎球菌予防接種を延べ326人に行いました
子宮頸がんワクチン予防接種	46万円	子宮頸がんワクチン予防接種を延べ29人に行いました
高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種	81万円	対象者に1人1回につき3500円の助成を23人に行いました
保健事務	53万円	保健事業に関する事務を行いました
基本健康診査事業	54万円	30歳代を対象とした健康診断を68人に行いました
基本健康診査2次健診事業	5万円	糖負荷検査や頸部エコーなどの詳細検査を行いました
肝炎検診	19万円	肝炎ウイルス検診を79人に行いました
骨粗しょう症検診	20万円	骨密度検査を128人に行いました
エキノコックス症検診	26万円	エキノコックス症検診を286人に行いました
健康教育・相談	8万円	健康教育や健康相談を行いました
栄養指導	114万円	栄養相談や食生活改善支援を行いました
健康体力増進室の管理運営	254万円	健康体力増進室の管理運営を行いました
乳幼児健康診査・相談	46万円	乳幼児の健康診査、健康相談を行いました
乳幼児歯科健診・教育	15万円	歯科健診、歯科指導、フッ素塗布を行いました
妊婦健康診査・相談	283万円	母子手帳の交付や妊婦健診助成を延べ620人に行いました
後期高齢者健康診査	55万円	後期高齢者の健康診査を110人行いました
特定不妊治療費の助成	20万円	特定不妊治療費の一部を延べ2人に助成しました
医療環境の充実		
救急医療の確保	98万円	休日や夜間などに救急患者が受診できる体制を確保しました
後期高齢者医療療養給付費負担金	9488万円	後期高齢者医療保険加入者の医療費の一部を負担しました
診療送迎車運行支援事業	140万円	診療送迎車運行に係る費用を支援しました
重度心身障害者の医療費助成	1892万円	重度の障がいのある方の医療費を助成しました
ひとり親家庭の医療費助成	376万円	母子家庭、父子家庭などの医療費を助成しました
未熟児養育医療費の助成	31万円	入院を必要とする未熟児の医療費を助成しました
24時間の訪問看護の確保	79万円	総合在宅ケア事業団の運営費を負担しました

**みんなで作る  
豊かなまち**

## ① 農業の振興

### ピンネ農業公社の支援 679万円

(担当：産業振興課農林畜産グループ)

基幹産業が農業である本町において、農業経営者の高齢化や担い手不足が進行し、農家戸数の減少や農地の遊休化が進み、地域農業が衰退する恐れが高まっています。

町とピンネ農協が共同で設立した「ピンネ農業公社」では、これらの課題解決に向けて、農業後継者の育成や農地の利用集積、農業生産法人設立の支援などを行いました。

### 農業基盤の整備 3170万円

(担当：産業振興課農林畜産グループ)

農業基盤を充実させるため、北海道が主体で行うほ場や用排水施設の整備費を負担しました。

○新北部地区

町負担事業費 1712万円

○新南部地区

町負担事業費 830万円

○新西部地区

町負担事業費 628万円



### 青年就農給付金事業 300万円

(担当：産業振興課農林畜産グループ)

青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、就農から経営が安定するまでの間（5年間）の所得を確保する「青年就農給付金」制度があります。

本町ではこの制度を活用し、親とは別の作物生産に取り組む青年2人に給付を行いました。

<財源内訳>

道の補助金 300万円

### 有害鳥獣の駆除 304万円

(担当：産業振興課農林畜産グループ)

エゾシカやアライグマ、カラスなどの鳥獣による農業被害の増加を防止するため、猟友会に委託し、駆除などの適正な被害対策を行いました。

また、アライグマ捕獲用わなの購入助成など、町内における有害鳥獣駆除を推進する新十津川町有害鳥獣対策協議会に対し助成を行いました。

【平成25年度の駆除頭数】

・エゾシカ 84頭

・アライグマ 23頭

<財源内訳>

有害鳥獣駆除負担金 114万円

町の負担 190万円

## 農産物ブランド化の支援 59万円

(担当：農産物ブランド化推進室)

町内で生産された農産物のブランド化を推進するため、新たな栽培方法を取り入れた良質で安全な農産物の生産や生産者自らが消費者との対面販売を行いました。

また、農産物やその加工品の販路拡大を目指した販売活動、広告活動を行っている農産物ブランド化推進協議会へ支援しました。



## 経営体育成支援事業 1467万円

(担当：産業振興課農林畜産グループ)

経営体育成支援制度は、地域の中心となる農業者が、農業経営の発展や改善を目的に農業機械を取得した場合に、取得費から融資額を除いた残額の3割を上限に、北海道を経由し、国から助成を受けられる制度です。

本町では、6人の農業者が本制度を活用し機械を導入しました。

<財源内訳>

道の補助金 1467万円



### 特産品

Special Product

新十津川町には、豊かな自然環境を生かした農産物と人々のエネルギーが結びついて生み出された、たくさんの特産品があります。明治39年に創業して以来の歩みを語る「金満」のお酒やお菓子類、陶器など多種多様です。新十津川町産産では、新十津川町だけでなく、母村十津川村をはじめ優良品の産品がゆめやみし、販売されています。

**高品質米「ゆめぴりか」「ななつぼし」**

J&Aの米の高品質米は独自の専事による厳かく仕分け業務されており、お米の美味しさを数値で表すひとつの特徴としてタンパク質の含有率が低いものをのみを厳選したお米です。

町内生産者が一貫して豊かな自然を生かして丹精とめて作ったメロウ、ミニトマト、シイタケ、タマネギなど県産品の機会にご覧ください。

JAピンネ  
TEL 0125-76-2921  
http://www.japinne.or.jp/

**「地酒会演」**

新十津川産酒造好適米「吟醸」を使った、「10月新十津川」や「2016年産」のお菓子類が人気です。石臼100%の仕立米と、酒のツブの産米でつくった地酒を味わってください。

金満酒造株式会社  
TEL 0125-76-2341  
http://www.kimbaki.co.jp/

**「ジンギスカン」**

新鮮な畜産品を使用し、新十津川100%の米屑として長期熟成されています。ホムソウも好評です。

有限会社八面精肉店  
TEL 0125-76-2929  
http://www.hachimatsukiniku.com/

**「陶器」**

北海道産水田の産物で、美しい陶器。地元の土にこだわって、この地に生息する木村を原料とし、自然の中で10日間焼成された「北海道」です。

新十津川産心陶器  
TEL 0125-76-3000  
http://www.tonden-gama.com/

**「缶詰」**

地元で採れた「産産物」を使用した缶詰100%です。

新十津川産  
TEL 0125-76-2555

**「ハム・ソーセージ」**

**ブルストよしだ**

本場ドイツの製法を守りながら、郷内の畜産品をふんだんに取り入れ、新しい味を生み出しているハム・ソーセージです。

ブルストよしだ  
TEL 0125-72-2525  
http://www.burst-yoshida.com/

**フレーバーキャンディー**

「自然」をコンセプトに、安心・安全な産物の生産と販売を通じて、よの多くの皆様へ、味の魅力の味を提供し、地域社会に貢献することを目的として活動しています。

ショップサポート フレーバーキャンディー  
ふれあいショップらまわり  
TEL 0125-76-4661  
http://shop.maywahai.or.jp/

## ② 林業の振興

### 町有林の保育管理

961万円

(担当：産業振興課農林畜産グループ)

幌加地区の町有林において約12haの間伐を実施し、間伐後の植林準備を行いました。

また、幌加地区と総進の町有林において、植林した木の成長を阻害する雑草などを除去する下草刈りを行いました。

<財源内訳>

道の補助金 469万円  
町の負担 492万円



### 民有地への植林活動の支援 262万円

(担当：産業振興課農林畜産グループ)

新十津川町内の民有林において、伐採後に確実な再造林を行って森林資源の循環利用を進めるため、北海道と町が連携して伐採後の植林(14.42ha)を支援しました。

<財源内訳>

道の補助金 161万円  
町の負担 101万円

### 林業専用道の整備

3179万円

(担当：産業振興課農林畜産グループ)

適切な森林整備や原木の搬出推進による木材の安定供給を図るため、「森林整備加速化・林業再生事業」を活用して福井土寸地区に林業専用道を整備しました。

全長4703メートルのうち2230メートルの整備が完了しました。

<財源内訳>

道の補助金 3179万円



### ③ 商工業の振興

#### 地元消費の拡大を支援

400万円

(担当：産業振興課商工観光グループ)

地元での購買意欲の向上と消費拡大を図るために行ったスタンプラリー抽選会事業に助成しました。

##### 【スタンプラリー抽選会】

○ふれあい商品券会加盟店で1店舗500円以上買い物で1スタンプ

- ・4店舗のスタンプ～1回抽選
- ・7店舗のスタンプ～2回抽選

○ラリー期間 1回目 7月20日～8月24日

2回目 12月15日～1月18日

○抽選会 1回目 8月25日 抽選者703人

2回目 1月19日 抽選者743人



#### 中小企業事業資金保障融資 3047万円

(担当：産業振興課商工観光グループ)

中小企業者の経営基盤の強化と健全な資金運用を図るため、町が指定する金融機関に運用資金3000万円を預けて、融資のあっせんを行いました。また貸付けられた資金の利子補給を行いました。

平成25年度は11社に貸し付けられた資金の利子補給を行いました。

##### <財源内訳>

預託金元利収入 3002万円

町の負担 45万円

#### 商店街の環境整備

203万円

(担当：産業振興課商工観光グループ)

消費者や観光客をひきつける成熟した商店街づくりを推進するため、各種団体の協力を得て、国道沿いの商店などにプランターを設置し、植樹柵には花を植栽しました。

また、商店街の景観形成としてLEDイルミネーション9基を作製しました。



## ④ 観光の振興

### 観光PRの推進 160万円

(担当：産業振興課商工観光グループ)

本町の観光施設の維持管理やイベント用テントなどの備品の整備のほか、ホームページや雑誌などを活用し、イベントや特産品のPRを積極的に行いました。

また、観光ガイドブック・観光PRポスターやPR名刺台紙を作成し、本町の観光情報を町内外へ広く発信しました。

※町内の団体に、5.4m×3.6mのテント（25張）を無料で貸し出していますが、間違った使い方などで故障することが多くなっています。部品が破損した場合は修繕費用を負担していただくこととなりますので、大切にお使いください。



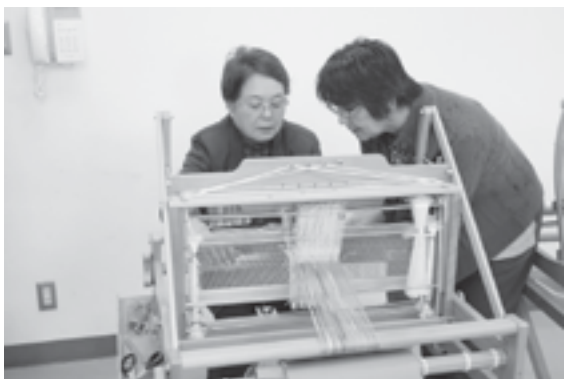
### 伝習館で工芸体験 507万円

(担当：産業振興課商工観光グループ)

文化伝習館で週3回の体験講座（陶芸、染物、織物）を行いました。学校の体験学習の受け入れも行い、平成25年度は2881人の利用がありました。

<財源内訳>

- 利用料金 167万円
- 町の負担 340万円



### キャンプ村の維持管理 326万円

(担当：産業振興課商工観光グループ)

青少年交流キャンプ村の管理に要した経費で、主にバンガローやトイレの清掃業務、施設の光熱水費や修繕費に使用しました。

平成25年度は、2998人が施設を利用しました。

<財源内訳>

- 利用料金 249万円
- 町の負担 77万円



## イベントの共催

700万円

(担当：産業振興課商工観光グループ)

本町の二大イベントである、ふるさとまつりと雪まつりを企画・運営しているふるさとまつり実行委員会に対し、開催費用の一部として、それぞれに350万円を助成しました。

### 【開催日・来場者数】

#### ○ふるさとまつり

- 7月27日（土）前夜祭花火大会  
（ビールパーティー 来場者数8000人）
- 28日（日）本祭 来場者数7000人

#### ○雪まつり

- 1月26日（日）来場者数4500人



## イベント

### Shintotsukawa's Event

- しんとつかわ雪まつり（1月4日曜日）
- 陶芸まつり（6月第3日曜とその前日）
- ピンネンリ登山マラソン（7月上旬）
- 野外懸垂ビールパーティー（7月下旬）
- しんとつかわふるさとまつり（7月下旬）
- 新十津川神社例大祭（8月上旬）
- 味覚まつり（10月第1日曜日）

#### 1月 雪まつり

寒い冬、ジャンボ釣り台が子供たちを大興奮。また、「全鎮大会」や「国体や年長争しの投擲手権」など各種ゲームが盛りを盛り上げます。

#### 7月 野外懸垂ビールパーティー

商工会青年部が主体となって行う恒例のビール消費量を誇るイベント。会場には「ふるさとまつり」前夜祭の花火がフィナーレを飾ります。

#### 6月 陶芸まつり

全道各地の陶器作家を一室に集めて開かれる陶芸まつり。毎年多くの陶芸ファンが訪れ、賑わいを見せています。

#### 7月 新十津川神社例大祭

収穫を祝い、自然の恵みに感謝を捧げ、翌年の豊作を祈る祭りとして開催されています。威勢のいい山車や、豪華な動物文化財の獅子舞などが披露されます。

#### 7月 新十津川神社例大祭

新十津川町では、季節の節目にさまざまなイベントを行っています。夏の「ふるさとまつり」、冬の「ゆきまつり」を筆頭に、「陶芸まつり」や「野外懸垂ビールパーティー」など盛りだくさん。食べて、飲んで、楽しんで、みんなの笑顔が笑顔です。

#### 7月 雪まつり

頂上を目指す42kmが、5合目で折り返す30kmなどの300人が健脚を競います。

#### 10月 味覚まつり

新十津川で収穫された高品質の産物や、手土産、新そばなどが楽しめます。

事業名	決算額	実施概要
農業の振興		
農業委員会活動事業	985万円	農業委員会の17人分の報酬などを支出しました
農業者年金事務	129万円	農業者年金事務を行いました
農地基本台帳管理システムの管理	36万円	管理システムの保守を行いました
農政事務経費	12万円	農業に係る事務に要する経費を支出しました
水稻の優良品種作付	14万円	水稻優良品種の作付試験を行いました
農地・水保全管理支払交付金	1610万円	農地・農業用水などを保全管理する組織に交付しました
環境保全型農業直接支援対策交付金	262万円	環境にやさしい農業に取り組む16人の農業者に交付しました
水土里情報システム負担金	41万円	農地情報などを管理するシステムの使用料を負担しました
営農振興対策協議会の支援	20万円	農業振興の関係機関で構成する協議会の活動を支援しました
農民協議会活動の支援	60万円	農業者で組織する農民協議会の活動を支援しました
農業経営基盤強化資金利子助成	603万円	認定農業者の借入資金の利子補給をしました
次世代農業者支援融資利子助成	3万円	農業後継者の経営承継資金の利子補給をしました
中山間地域等直接支払交付金	1億2748万円	中山間地域で営農する農業者に交付しました
経営所得安定対策への助成	611万円	地域農業再生協議会に推進事務費を助成しました
新規就農者技術修得センターの管理	517万円	修得センターのトラクター、軽トラックなどを更新しました
農地集積協力交付金	263万円	農地集積に協力した農業者に交付しました
家畜の病気予防	70万円	肉牛などに対しワクチンの予防接種を行いました
家畜相場の調査	2万円	家畜市場などで、家畜相場の調査を行いました
学園牧場の維持管理	127万円	町営牧場の維持管理を行いました
畜産振興協議会活動の支援	30万円	畜産農家で組織する畜産振興協議会の活動を支援しました
農業基盤整備事業償還金	385万円	完了した基盤整備事業の償還金を支出しました
21世紀高生産基盤整備事業事務費負担金	240万円	基盤整備事業に要する事務費を負担しました
国営造成施設管理体制整備の促進	1249万円	貯水池や農業用頭首工などの維持管理を行いました
基幹水利施設の管理	670万円	国の土地改良施設の管理を行いました
林業の振興		
森林総合研究所分収林の管理	37万円	分収造林地の管理を行いました
森林保護のための巡回活動	13万円	巡視により、林野火災やごみの不法投棄を予防しました
鳥獣による森林被害の防止	10万円	薬剤散布により、野ネズミによる森林被害を防止しました
林道の維持管理	301万円	林道5路線の維持管理を行いました
緑の少年団活動の支援	3万円	緑の少年団の活動事業に対して助成しました

事業名	決算額	実施概要
商工業の振興		
商工業振興事業	7万円	商工業振興委員会を1回開催しました
中小企業の近代化促進	34万円	商店街の近代化の取り組みに対し支援しました
借入資金の利子補給	232万円	国・道の融資制度利用者に資金利子の一部を助成しました
新十津川町商工会の支援	919万円	商工会の円滑な業務を推進するために助成しました
観光の振興		
ふるさと公園の維持管理	1367万円	ふるさと公園の草刈りなどの維持管理を行いました
文化伝習館の管理運営	609万円	文化伝習館の管理運営を行いました
新十津川物語記念館の管理運営	149万円	物語記念館の管理運営を行いました
吉野地区活性化センターの管理運営	560万円	吉野地区活性化センターの管理運営を行いました
吉野公園の維持管理	364万円	公園とキャンプ場の維持管理を行いました
吉野駐車公園の維持管理	55万円	駐車公園（旧吉野公園）の維持管理を行いました
イベント開催の支援	70万円	観光協会が主催するイベント費用の一部を負担しました
新十津川町観光協会の支援	10万円	観光協会が実施した事業に対して助成しました
ふるさと温泉の管理	974万円	温泉施設所有者に温泉の維持管理費を助成しました
交流促進施設の管理運営	4173万円	サライなど4施設の運営を指定管理により行いました
新十津川総合振興公社の支援	2000万円	振興公社の安定運営のため運転資金の貸し付けを行いました
雇用の創出		
地域職業訓練センター協会負担金	57万円	職業訓練センターの運営費を負担しました
新十津川技能協会の支援	4万円	技能協会の運営を推進するために助成しました
通年雇用の促進	2万円	滝川地域通年者用促進協議会の運営費を負担しました

**みんなで作る  
安心なまち**

## ① 消防・救急体制の充実

### 緊急用ヘリポートの整備

544万円

(担当：災害対策事務局)

山間部の徳富区は救急活動に時間を要することから、救急医療の拠点として「吉野緊急用ヘリポート」を整備し、ドクターヘリとの連携の強化を図りました。

#### 【整備概要】

ドクターヘリの離発着に必要な26m×23mの舗装エリアとヘリが上空から風向や風速を確認するための吹流しを整備しました。

#### 【ドクターヘリとは】

救急医療に精通した医師・看護師をできる限り速やかに現場に派遣し、一刻も早い初期治療を開始するための「救急医療専用ヘリコプター」です。

機内には救命救急に必要な医療機器や医薬品が常備され、操縦士、整備士、医師、看護師が搭乗します。



### 滝川地区広域消防事務組合負担金

1億7937万円

(担当：総務課総務グループ)

消防組織の維持充実には多額の費用が必要となるため、本町は、滝川市、雨竜町とともに滝川地区広域消防事務組合（一般事務組合、平成26年度からは芦別市と赤平市が加入）を設置し、その運営費を各市町で負担しています。

主な支出は、消防職員の人件費、消防署庁舎の維持管理費、消防団の運営費、消火栓などの消防施設の整備更新、消防車両の維持管理、救急救助資機材の経費などがあります。

平成25年度は第2分団（花月地区）の消防ポンプ車をタンク車に更新しました。



## ② 防災体制の充実

### 排水機場の管理

797万円

(担当：建設課土木グループ)

大雨による石狩川の水位上昇により、堤防内(私たちが住んでいる側)の河川の排水機能がストップした時に、ポンプで強制的に排水する施設が町内に7カ所あります。

万が一の水害に備え、いつでも迅速に施設を稼働できるように、水防団員による設備の設置訓練を行うとともに、機器の点検・運転や施設周辺の草刈りを行いました。

#### <財源内訳>

国の補助金	183万円
道の補助金	234万円
浦臼町の負担金	40万円
町の負担	340万円

### 防災無線の管理

295万円

(担当：建設課土木グループ)

防災行政無線は、皆さんへ速やかな情報伝達と情報共有が図られるよう、平成9年度から運用しています。

施設の機能を維持するため、保守点検を行うとともに、町内に8カ所ある屋外拡声装置のうち、4カ所の更新を行いました。



4

### 地域防災力の強化

119万円

(担当：災害対策事務局)

いつ起こるか分からない災害に備えるため、住民や町職員の意識の高揚と体制整備を進めました。

#### ○皆さんに対して

- ・災害発生時に地域のリーダーとして活躍できる人材の育成を図るため、「防災士」の資格取得者10人に対し研修費用の全額を助成しました。
- ・住民と各行政区に配置した町職員からなる地域サポーターが一体となり、災害が発生したことを想定した図上訓練を行いました。

#### ○町職員に対して

- ・東京にある消防大学校において、自主防災組織の育成に必要な知識や能力を修得するための研修に参加しました。
- ・災害時における職員の初動対応についての研修を行いました。

#### <財源内訳>

加盟団体からの負担金	30万円
町の負担	89万円

### 災害復旧調査・工事

2751万円

(担当：建設課土木グループ)

9月4日から5日にかけての豪雨により、町内の道路や河川、林道などが被害を受けました。

被災した施設を従前どおりに復旧するため、調査測量を行い、復旧工事を行いました。

#### 【道路・河川の災害復旧事業】

- 北4号線単独災害復旧工事(道路法面復旧) 延長12m
- 栃谷川災害復旧工事(河岸復旧) 延長11m
- 奥幌加沢川支流復旧工事(河岸復旧) 延長20m

#### <財源内訳>

国の補助金	860万円
町の負担	1891万円

### ③ 生活安全体制の充実

#### 中央地区市街地街路灯の更新・新設 5752万円

(担当：住民課住民活動グループ)

国道275号沿線にある街路灯は、老朽化により機能低下しており、また未設置区間もあることから、省エネ性能が高いLED灯に更新および新設し、安全安心の明るい町づくりを推進しました。

本事業は平成24年度から3カ年計画で進めており、平成25年度は、菊水区、中央区、文京区、青葉区内の50基を更新し、5基を新設しました。

<財源内訳>

道の負担	2870万円
地元負担	9万円
町の負担	2873万円



#### 安全・安心推進協会の支援 112万円

(担当：住民課住民活動グループ)

町内の交通安全や防犯のために活動する新十津川町安全・安心推進協会へ助成しました。

安全・安心推進協会は、青色回転灯防犯パトロールによる町内巡回や各季の交通安全運動での街頭啓発などを通じ、本町の安心で住みよいまちづくりに貢献しました。



#### 消費生活問題の解決 146万円

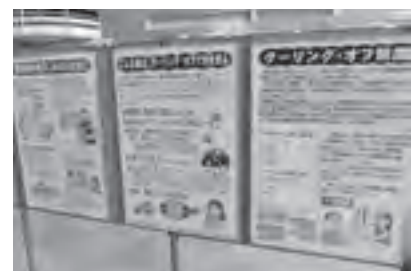
(担当：住民課住民活動グループ)

消費生活トラブルの相談窓口を設け、皆さんからの相談に応じ、解決策を提案しました。

また、インターネットの架空請求やオレオレ詐欺、悪質な住宅リフォームなど、複雑なトラブルに関する相談に迅速に対応するため、滝川地方消費者センター（0125-23-4778）にも相談業務を委託しました。

<財源内訳>

道の負担	114万円
町の負担	32万円



事業名	決算額	実施概要
防災体制の充実		
樋門樋管の管理	76万円	北海道から委託を受けた樋門54カ所の管理を行いました
河川の維持管理	656万円	町管理河川の保全や河川愛護組合の活動を支援しました
河川環境整備促進事務	2万円	道管理河川の整備を促進するための活動を行いました
徳富川ラブリバー推進協議会の支援	13万円	河川環境保全活動を行っている団体へ支援しました
融雪出水災害の防止	56万円	春季に雪でふさがった河川の雪割りを行いました
道市町村総合事務組合負担金	26万円	水防団員が活動中に被った災害のための保険に加入しました
災害用備品の管理	68万円	衛星携帯電話の更新や災害用ベストを購入しました
防災センターの管理	10万円	除草剤散布など、施設の管理を行いました
災害救助物資の備蓄	13万円	保存期限が近づいた備蓄品（缶詰やカレー）を更新しました
生活安全体制の充実		
交差点照明の更新	210万円	交差点照明2基をナトリウム灯からLED灯に更新しました
交通安全の推進	140万円	交通指導車と交通安全指導員の活動費を支出しました
中央地区市街地街路灯の管理	266万円	中央地区に設置している街路灯の管理費を負担しました

5

**みんなで作る  
学びのまち**

## ① 学校教育の充実

### 新十津川農業高校の教育振興

332万円

(担当：教育委員会学校教育グループ)

新十津川農業高等学校の特色ある教育活動や北中空知唯一の農業高等学校として広域的な入学者の確保を目的として、主に次の経費を助成しました。

#### ○小学生を対象とした取り組み経費

農作物と食に関する講話、田植えや稲刈り、インゲンなどの野菜の収穫、豆腐作りなどの体験を高校生が支援しました。

#### ○中学生を対象とした取り組み経費

一日体験事業としてふりふりバター作り、草花を使用した簡易コサージュ作り、また高齢者の疑似体験では、実際に食事を取る体験などを高校生が支援しました。

#### ○各種大会出場経費

学習の成果を伝える農業クラブ意見発表大会や道内の農業高校生がガーデニングの技術を披露する花フェスタガーデニングコンテストに参加し、高い評価をいただきました。

また、創作パンコンテストいわみさわパン甲子

園では「きなみつお花パン」が地域賞を受賞し、実際に商品化されました。

#### ○資格取得助成経費

介護職員初任者講習（ホームヘルパー2級）、小型フォークリフト作業、アーク溶接技能、食品衛生管理者の資格取得経費を助成しました。

#### ○遠距離通学費

町外から遠距離通学する生徒に対し、使用交通機関の定期券購入経費の一部を助成しました。



### 学校給食センターの増築 258万円

(担当：教育委員会学校給食センター)

雨竜町からの委託を受け、平成27年度から本町の学校給食センターで調理した給食を雨竜町の児童生徒へ提供する予定です。

雨竜町分の食器や食缶を消毒保管する設備の増設のために、増築工事の実施設計を行いました。

#### <財源内訳>

雨竜町の負担金 258万円



### 小学校教科担任講師配置 102万円

(担当：教育委員会学校教育グループ)

小学6年生から中学1年生への進級には、「中1ギャップ」と呼ばれる大きな環境変化があります。

児童が小学校の学級担任制から中学校の教科担任制へスムーズに移行できるようにするため、学習意欲と学力の向上を目的に、町独自で小学校に教科担任講師を1人配置しました。



## 中学校教育充実講師配置 230万円

(担当：教育委員会学校教育グループ)

中学校は教科担任制ですが、北海道教育委員会の配置基準により、全教科に教員が配置されませんでした。

免許外指導を解消するため、町独自で中学校に専科指導教諭を配置し、学習指導要領に基づいた適切な授業が行える体制を整え、よりきめ細かい学習指導を行いました。



## 課外活動費 382万円

(担当：教育委員会学校教育グループ)

中学校では、野球、サッカー、卓球、剣道、ソフトボール、バレーボール、バスケットボール、吹奏楽の8つの課外活動が行われました。各部共に練習の成果を発揮し各種大会でそれぞれ成績を残しました。

また、吹奏楽部の楽器を整備したほか、各部の円滑な運営を目的に活動費や中体連全道、全国出場経費を負担しました。



## 特色ある小中学校教育

1134万円

(担当：教育委員会学校教育グループ)

夏休みと冬休みのそれぞれ4日間を活用し、農村環境改善センターとゆめりあを会場として、町内の児童・生徒を対象に学習会「やまびこ」を開催しました。講師、はなまる先生として、道内の大学生、町立学校のPTA会員、教職員、とっぴ子どもゆめクラブ、地域の皆さんなど多くの方々の支援をいただきました。

振り返り学習を行うことで、つまづきを解消し、学習の基礎基本の定着を目指しました。

また、「食育」の一環として町の管理栄養士と食生活改善推進員による学童栄養教室や日本ハム株式会社中央研究所管理栄養士による講演会を開催し、食の重要性を学びました。

さらに、理科授業に必要な実験機器を国の補助を有効活用し、13品目35点購入しました。



## ② 社会教育の充実

### 児童・生徒の母村訪問 124万円

(担当：教育委員会社会教育グループ)

母村十津川村との交流を深めるため、児童生徒23人と教職員6人が、奈良県十津川村を訪問しました。

訪問先では、自分たちの住む町とは違う景色や環境に肌で触れ、本町の歴史的背景をより深く学ぶことができました。

また、地域の方々や児童生徒との交流を通して、両町村の絆を一層深めることができました。



### 芸術鑑賞 349万円

(担当：教育委員会社会教育グループ)

ゆめりあホールで、音楽や芸術鑑賞会を4回実施しました。

平成25年度は民謡からクラシック、親子向けのものまで、幅広いジャンルの公演を実施し、合計1010人がステージを鑑賞しました。

<財源内訳>

団体からの助成金など 115万円  
町の負担 234万円

開催日	内 容	入場者
7/3 (水)	EZO`Nコンサート	205人
7/12 (金)	1966カルテット ～ビートルズ&クイーン ロンドンクラシック～	157人
9/10 (火)	室内楽名曲コンサート ～NHK交響楽団メンバーと仲間 たちによる至高のハーモニー～	172人
9/28 (土)	ウルトラマンライブEX2013	第1部247人 第2部229人
合 計		1010人

### 体験学習の推進 『しんとつかわ通学合宿』 14万円

(担当：教育委員会社会教育グループ)

子ども絵画教室や親子ふれあい造形教室のほか、小学6年生を対象とした通学合宿を実施しました。

通学合宿は、25人が参加し、6泊7日の合宿生活を送りました。

朝食作りや洗濯、家庭学習など、自分たちで考えた計画を、毎日の振り返りの中で修正しながら生活することで、規則正しい生活や学習習慣の定着へのきっかけづくりとなりました。



<財源内訳>

参加者負担金 1万円  
町の負担 13万円



## 絵本とのふれあい

7万円

(担当：図書館)

家庭での読書習慣の定着を目標として、平成20年度から乳幼児と絵本がふれあう機会を設けています。

ゆめりあで実施する生後3～4カ月児健康相談時に、図書館司書が出向き、赤ちゃんと保護者に絵本の読み聞かせを行いました。

また、絵本2冊と赤ちゃんの名前入り手作り布バッグを38人にプレゼントしました。



## 開拓記念館の管理運営

679万円

(担当：教育委員会社会教育グループ)

開拓記念館は耐震基準を満たしていないため、耐震補強および改修の設計を行いました。

耐震改修工事については平成26年8月から行っており、通常11月から4月まで冬期休館となりますが、今年は来場者の安全を優先するため9月22日から休館しています。

<財源内訳>

国の補助金 77万円

入館料 11万円

町の負担 591万円



## スキー場の管理運営

1822万円

(担当：教育委員会社会教育グループ)

そっち岳スキー場の管理のほか、今後も継続して安全性を確保するためリフトの滑車や制動機部分を整備しました。

また、ロッジと車庫の屋根塗装や、スキー場までの案内看板を修繕しました。

<財源内訳>

リフト使用料等 1002万円

町の負担 820万円



## ふるさと公園内の体育施設の管理運営

6148万円

(担当：教育委員会社会教育グループ)

ふるさと公園周辺の体育施設について、指定管理制度により管理運営を行いました。

より安全で利用しやすい施設とするため、スポーツセンターはボイラー更新とフロアのウレタン塗装のほか、バスケットコートラインの変更を行いました。

また、ふるさと球場のグラウンド整備やパークゴルフ場の柵修繕、温水プールの床面改修などを行いました。



事業名	決算額	実施概要
学校教育の充実		
育英事業	327万円	学費支払いが困難な学生に奨学金の貸し付けを行いました
言語治療教室通級負担金	5万円	言葉の教室（砂川市）の運営費を負担しました
私立幼稚園就園奨励補助金	655万円	私立幼稚園に通う子どもがいる家庭を支援しました
教員住宅の維持管理	44万円	教員住宅など14戸の維持管理を行いました
小中学校校舎の維持管理	4432万円	校舎などの維持管理を行いました
小中学校の運営	243万円	学校評議員や臨時事務職員などの経費を支出しました
小中学校特別支援教育	656万円	特別支援学級の運営と文部科学省指定事業に取り組みました
小中学校就学援助	347万円	生活に困っている世帯の児童生徒に教材費を助成しました
小中学校保健活動	173万円	児童生徒の健康診断を行いました
教職員健康管理	43万円	小中学校教職員の健康管理を行いました
教育研究	107万円	小中学校教職員の研究と研修を進めました
小中学生芸術鑑賞教室	75万円	雨竜町と共同で芸術鑑賞教室を開催しました
スクールバスの運行管理	1369万円	スクールバス4台の維持管理を行いました
スクールカウンセラー室の整備	94万円	中学校にスクールカウンセラー室を新たに整備しました
外国青年の招致	487万円	児童生徒や町民の英語教育を支援しました
学校給食センター維持管理	2104万円	学校給食を届けるために施設を運営しました
学校給食の提供	5783万円	学校給食の調理や食器などの配送・回収を行いました
学校給食扶助費の交付	402万円	所得状況に応じて学校給食費の助成を行いました

事業名	決算額	実施概要
社会教育の充実		
社会教育委員活動事業	18万円	社会教育委員7人の活動を支援しました
地域ぐるみの教育の推進	180万円	学校支援地域本部実行委員会の活動を支援しました
成人式の開催	24万円	成人式を開催し、新成人をお祝いしました
シニアリーダー活動の支援	6万円	子ども会を支援する高校生団体の活動を支援しました
青少年文化スポーツ元気事業	64万円	子どもの元気な文化スポーツ活動を支援しました
青年団の母村交流	26万円	母村青年団の受け入れおよび交流を支援しました
社会教育活動の推進	85万円	社会教育に係る賃金や研修旅費などを支出しました
青年会館の管理運営	13万円	青年協議会に青年会館の管理を委託しました
農村環境改善センターの管理	2660万円	屋上防水改修工事および水道設備工事を行いました
アートの森の管理	26万円	アートの森（旧吉野小）の維持管理を行いました
子ども会育成者連絡協議会の支援	76万円	子ども会活動を支援しました
P T A 連合会の支援	6万円	町P T A連合会の活動を支援しました
女性団体連絡協議会の支援	16万円	町の女性団体の活動を支援しました
十津川村駅伝大会への派遣	47万円	十津川村駅伝大会に選手を9人派遣しました
文化活動の推進	32万円	町民文化祭や音楽祭を開催しました
伝統芸能継承団体の支援	37万円	獅子神楽保存会とおどり保存会の活動を支援しました
文化活動団体の支援	22万円	文化協会や音楽協会、コーラス団体の活動を支援しました
図書館の維持管理	1646万円	駐車場の改修と蔵書管理システムの更新を行いました
新刊図書の購入	1909万円	書籍、視聴覚資料などを購入し、蔵書を充実させました
図書館の利用促進	63万円	青空図書館や人形劇公演などのイベントを開催しました
スポーツ推進委員活動事業	18万円	スポーツ推進委員の活動を支援しました
社会体育推進活動事業	12万円	ピンネシリ登山マラソン大会を支援しました
スポーツ体験学習の推進	17万円	小学校1年生を対象としたスキー教室を開催しました
学校開放事業	4万円	体育館を開放する際の管理指導員への謝礼を支出しました
スポーツ指導者の養成	3万円	スポーツ指導者の資格登録料を助成しました
全道・全国大会参加費の助成	65万円	スポーツ団体の全道・全国大会の参加費を助成しました
体育協会の支援	23万円	体育協会の加盟団体に支援しました
スポーツ団体記念事業負担金	5万円	パークゴルフ協会20周年記念誌の発行を支援しました
町民体育館の管理	127万円	中央体育館と大和体育館の維持管理を行いました

6

**みんなとともに  
歩むまち**

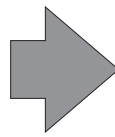
# ① 住民参加の促進

## 防犯灯のLED化

3149万円

(担当：住民課住民活動グループ)

行政区が管理する水銀灯の防犯灯（921灯）全てをLED灯に更新しました。  
節電、CO<sub>2</sub>削減など環境対策を図り、皆さんの安全で安心な暮らしを守っています。



## 行政区自治会館の管理 772万円

(担当：総務課財務グループ)

青葉区自治会館の外部改修工事と橋本区自治会館の前庭舗装工事を行いました。

### <財源内訳>

行政区負担金	26万円
町の負担	746万円



## 議会だよりの発行 34万円

(担当：議会事務局)

町議会では、皆さんが議会をより身近に感じ、理解いただけるよう、議会だよりを発行しています。

議会だよりは、親しみやすく、分かりやすい内容となるよう心掛け、定例議会や臨時議会の様子、各常任委員会活動などの情報を、年4回お届けしました。



## 開町記念式の開催

80万円

(担当：総務課総務グループ)

先人の労苦をしのび、その功績をたたえ、よりよき新十津川町を築き上げる決意を新たにするため、毎年6月20日に開町記念式を開催しています。

式典では、母村十津川村をはじめ、多くの方々にご列席をいただきました。

### <財源内訳>

参加者会費 20万円  
町の負担 60万円



## レインボー講座（出前講座）0万円

(担当：総務課企画調整グループ)

住民の皆さんと情報を共有し、まちづくりを進めるために、町の担当者が地域に出向いて説明する出前講座を行いました。

平成25年度は、自主防災組織設立に向けた研修会、健康づくりやごみの分別方法などの講座を中心に、12団体304人の方の参加をいただきました。



## 行政区活動の支援

998万円

(担当：住民課住民活動グループ)

行政区を支援するため、各種活動経費を交付しました。

- ・基本事業 行政区の人口など、規模に基づく交付金
- ・提案事業 地域の結びつきを強くし住みよい地域づくりを目指すため、行政区が行う自主的で特色ある活動に対する交付金
- ・協働事業 行政区と町がお互いに協力し合い、役割と責任を分担しながら行う活動に対する交付金
- ・その他 行政区の役員を対象とした、町内会活動を推進するための研修会（札幌市）参加に対する交付金

### 【基本事業】

会館清掃・区民レク・子ども会、老人クラブ助成金など・・・167万円

### 【提案事業】

地域環境整備事業	8事業	83万円
コミュニティー推進事業	2事業	7万円
防災・安全安心事業	8事業	84万円
区民研修事業	5事業	29万円
文化づくり事業	7事業	85万円
防犯・交通安全活動事業	2事業	18万円

### 【協働事業】

防犯灯の維持管理	203万円
ごみステーション除雪	78万円
広報しんとつかわ配布	64万円
町有地草刈り	123万円
墓地草刈り	7万円
道路清掃	5万円
公園維持管理	36万円
行政区研修	9万円

## ② 行政の効率的な運営

### 職員の研修派遣 350万円

(担当：総務課総務グループ)

新十津川町人材育成基本方針に基づき、職員の能力向上を図ることを目的として、各種研修に派遣しました。

派遣先は自治大学校や市町村職員中央研修所、北海道市町村職員研修センター、北海道空知町村会などで、内容は職位に応じた階層別の研修や課長職が派遣職員を指名する専門技術に関する研修のほか、職員自らが研修先を選択して学習の機会を設ける自主研修を行いました。

また、高齢化の進行やIT化の推進に伴い、職員のスキルアップを図るため、雨竜町と共同で成年後見人制度と情報管理についての研修会を開催しました。

#### <財源内訳>

研修事業助成金 16万円  
町の負担 334万円

### 総合行政審議会の運営 68万円

(担当：総務課企画調整グループ)

皆さんと行政が協働のまちづくりを進めるため、幅広く住民の意見を行政に反映できるよう、公募委員と有識者委員の18人で組織する審議会を設置しています。

審議会では、まちづくりに関する各種計画の審議や町が進めている事業が住民のために役立っているのか、どのような成果があったのかの評価を行いました。

#### ○各種計画の審議

下水道中期ビジョン、環境基本計画、子育て支援事業計画の審議を行いました。(全4回)

#### ○外部評価

平成24年度に実施した59施策のうち、12施策について住民の立場から評価を行いました。

(全6回)

### 戸籍事務のコンピューター化 4774万円

(担当：住民課戸籍保険グループ)

平成25年9月28日から、戸籍事務のコンピューター化を実施しました。これにより、戸籍の作成や証明書の発行が、より早く正確に行うことができるようになりました。対象となったのは、新十津川町に本籍のある3847戸籍です。

また、戸籍の副本を電子情報化して遠隔地で管理することにより、災害などによる戸籍の滅失の際に、戸籍を容易に復元できるようにしています。

コンピューター化にあたっては、中空知の5市5町が共同で調達し運用することで、経費の削減を図りました。

見本

見本

9月28日から

戸籍証明書の受取点		
	現在の戸籍	電子化後
名称	戸籍簿本 戸籍抄本	戸籍全記録検索履歴簿 戸籍個人事項検索履歴簿
手数料	450円/1冊	450円/1冊
形式	紙書式	紙書式
公開	実印	電子公印(顔色)
用紙	白紙(B4)	改ざん防止用紙(A4)

事業名	決算額	実施概要
住民参加の促進		
情報公開・個人情報保護の審査	3万円	情報公開に関する審査会を2回開催しました
広報誌の発行	318万円	広報の発行やインタビューボードの作成を行いました
まちづくり読本の発行	99万円	決算版を10月に、予算版を4月に発行しました
ホームページの運営	71万円	ホームページを適正に管理し、町の情報を発信しました
ふるさと応援基金啓蒙事業	1万円	ふるさと応援寄附金の振込み手数料を8件負担しました
赤十字奉仕団負担金	8万円	赤十字奉仕団の活動を支援しました
叙勲等事務	38万円	3人の叙勲受章者へ記念品を贈呈しました
町政発展功労者の表彰	61万円	町の発展に功績のあった方27人に表彰盾などを贈呈しました
母県母村交流	89万円	十津川村や奈良県との交流事業を行いました
町民の葬祭	39万円	町民の葬祭に係る経費を支出しました
追悼式の開催	28万円	戦没者・開拓物故功労者・消防殉職者追悼式を開催しました
遺族会の支援	10万円	新十津川遺族会の活動を支援しました
更生保護活動への助成	6万円	保護司会に活動経費の一部を助成しました
社会福祉協議会への支援	1132万円	社会福祉協議会の活動を支援しました

事業名	決算額	実施概要
行政の効率的な運営		
議会活動運営事業	254万円	政務調査や研修会、臨時職員の賃金を支出しました
総務事務	674万円	職員の旅費や臨時職員の賃金を支出しました
通信費	230万円	書類や小包の郵便代や宅配便代として支出しました
行政情報の収集	80万円	新聞や官報などにより情報を収集しました
条例・規則の審査	317万円	町例規システムの維持管理を行いました
職員の人事管理	72万円	職員の人事給与の管理を行いました
予算決算書の調整	5万円	平成26年度予算書と平成24年度決算書を作成しました
財政事務	10万円	財政事務に係る旅費や消耗品に支出しました
財務会計システムの管理	31万円	財務会計システムの保守管理を行いました
財務会計システムの更新	577万円	財務会計システムを更新し、クラウド型に変更しました
庁舎管理事務	1927万円	役場庁舎の維持管理に係る消耗品などに支出しました
普通財産管理事務	4752万円	町有施設の解体で発生したPCB含有物を処分しました
各施設共通管理事務	1452万円	浄化槽点検や火災保険加入など町有施設の管理を行いました
自動車管理事務	738万円	町が管理している自動車の維持管理を行いました
電子機器管理事務	681万円	事務で使うコンピューターの維持管理を行いました
庁用管理事務	577万円	消耗品の購入など役場の事務経費に支出しました
まちづくり推進事務	12万円	研修会や説明会、要望などに係る旅費を支出しました
行政評価の推進	10万円	事業の評価と600人を対象に町民アンケートを実施しました
中空知広域市町村圏組合負担金	112万円	中空知5市5町の広域連携事務費を負担しました
町税賦課・徴収事務	5826万円	町税を正しく公平に賦課し、徴収しました
固定資産の評価替え	3904万円	固定資産（土地）の評価額を見直すための調査を行いました
電子申告受付サービスの導入	2394万円	税の電子申告を受け取るためのシステムを導入しました
戸籍住民登録事務	158万円	戸籍や住民票などの発行やそれに関連する事務を行いました
総合行政システムの管理	775万円	住民情報や保険、福祉、税情報をシステムで管理しました
住基ネットシステムの機器更新・管理	266万円	住基ネット機器の更新や住基カードを24件発行しました
パスポートの発行	12万円	滝川市へ委託し、パスポートを91件交付しました
保健福祉車両の管理	108万円	5台の福祉車両の管理を行いました
保健福祉支援システムの管理	153万円	健康情報・障がい情報をシステムで管理しました
福祉事務	166万円	福祉事務全般に係る賃金や消耗品などの経費を支出しました
国民年金事務	1万円	国民年金の加入手続きや年金請求の事務を行いました

事業名	決算額	実施概要
どの政策にも属さない仕事		
議会人件費	4718万円	町議会議員11人の報酬や期末手当、共済費を支出しました
議会要望活動	15万円	国の省庁などへ要望を行いました
職員の健康管理	210万円	職員の健康管理のため健康診断を行いました
非常勤職員の災害保険	32万円	非常勤職員の公務災害保険の保険料を支出しました
固定資産評価審査委員会	3万円	固定資産評価審査委員会を1回開催しました
職員の福利厚生	10万円	職員の福利厚生のための経費を負担しました
望郷会の活動支援	36万円	望郷会に活動経費の一部を助成しました
土地取引の届出事務	7万円	土地取引（売買）後に提出される届出書を9件受理しました
公平委員会活動	3万円	公平委員会を1回開催しました
税等還付金	2284万円	過年度分の修正申告などに伴う税金などの還付を行いました
選挙管理委員会の運営	31万円	町の選挙管理委員会の運営を行いました
参議院議員選挙の執行	433万円	参議院議員通常選挙の執行に係る経費を支出しました
統計事務	2万円	札幌で開催された統計調査研修会に出席しました
学校基本調査	1万円	幼稚園、小・中・高校を対象とした統計調査を行いました
工業統計調査	3万円	製造業者を対象に、生産額や就業人数の調査を行いました
経済センサス	1万円	日本経済の「いま」を知るための調査の準備を行いました
住宅・土地統計調査	34万円	住宅と世帯の居住状況、保有する土地の調査を行いました
監査委員活動事業	139万円	各種の監査を行い、町の財政や仕事をチェックしました
職員人件費	8億5934万円	給料3億8014万円、手当2億1633万円、共済費2億6287万円

## 公共施設等 電話番号・FAX番号

施設名		電話番号	FAX	施設名		電話番号	FAX
役場 庁舎	住民課	76-2130	76-2785	サンヒルズ・サライ	76-3000	76-3036	
	産業振興課	76-2134		新十津川物語記念館	76-2995	76-2995	
	会計課	76-3192		文化伝習館	76-2991	76-2992	
	総務課	76-2131		新規就農者技術修得センター	76-4257	76-4257	
	建設課	76-2139		農林産物加工センター	73-2077	73-2078	
	議会事務局	76-3191		除雪センター	76-4302	—	
	農業委員会	76-2135		消防支署	76-2619	76-3716	
保健福祉課・ゆめりあ		72-2000	72-2006	西空知広域水道企業団	76-2486	76-3660	
教育委員会・改善センター		76-4233	76-3223	吉野地区活性化センター	73-2632	73-2632	
総合振興公社・物産館		76-3141	76-3126	社会福祉協議会	76-2600	76-3505	
児童館		76-2402	74-2402	空知農業改良普及センター-中空知支所	74-2281	74-2285	
新十津川保育園		76-2419	76-2871	ピンネ農業公社	72-2022	76-4102	
地域子育て支援センター		72-2088	72-2088	新十津川駐在所	76-2610	—	
地域包括支援センター		72-2030	—	花月駐在所	74-2012	—	
スポーツセンター		76-3390	76-3390	大和駐在所	76-2573	—	
そっち岳スキー場		76-2075	—	新十津川郵便局	76-2560	76-2064	
温水プール		76-2925	—	橋本郵便局	76-2960	76-2912	
サンウッドパークゴルフ場		76-2500	—	石狩大和郵便局	76-2901	76-2094	
ピンネスタジアム		76-3838	—	石狩吉野郵便局	73-2121	73-2465	
新十津川幼稚園		76-4152	76-4003	花月郵便局	74-2400	74-2530	
新十津川小学校		76-2505	76-3477	札幌開発建設部滝川河川事務所	76-2211	76-2224	
新十津川中学校		76-2161	76-2162	札幌開発建設部樺戸農業開発事務所	76-4397	76-4376	
武道場		76-4098	—	新十津川土地改良区	76-2261	76-3336	
新十津川農業高等学校		76-2621	76-2292	新十津川町商工会	76-2571	76-4445	
給食センター		76-2528	76-2671	中空知衛生施設組合	75-3800	75-3801	
図書館		76-3746	76-4641	中・北空知廃棄物処理広域連合	42-5389	42-5390	
開拓記念館		76-2622	—	空知中部広域連合	66-2152	66-2138	